

# 第36回

【地域別】

## 市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成 23 年 2 月 6 日

○会 場 けやきコミュニティセンター

武蔵野市



## まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

平成18年からの2年間で、すべてのコミュニティ協議会との共催により、「地域別タウンミーティング」を計16回開催しました。その後、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「市民協働で育むまちづくり」「市民とつくる環境にやさしいまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」などをテーマとしたタウンミーティングを計8回、地域別の2巡目のタウンミーティングを計7回、屋外での青空タウンミーティングを4回開催いたしました。

今回は、けやきコミュニティ協議会との共催により、「第36回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

**邑上守正**

## 概 要

1. 日 時 平成23年2月6日(日)  
午後2時～4時30分
2. 場 所 けやきコミュニティセンター
3. 主 催 武蔵野市  
けやきコミュニティ協議会
4. 参加者数 65人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正  
吉祥寺東コミュニティ協議会 代表 島森 和子  
企画政策室長 小森 岳史  
クリーンセンター所長 木村 浩
6. 司 会 けやきコミュニティ協議会 村井 寿夫  
企画政策室 市民協働担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 『自分たちのまちは自分たちでつくろう』

## 目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ .....	1
(2) 第1部意見交換(要旨) .....	2
事例紹介.....	2
1. 歩道の安全確保について.....	2
2. 市民活動の場について.....	4
3. 元号の使用について.....	5
4. NPOとの協働について.....	5
5. 駐輪場について、住みたいまちNO.1について、公園について.....	5
6. 旧中央図書館跡地について.....	7
7. 保育園の不足について.....	7
8. 歩道への商品の陳列について、商店街への駐輪場設置について.....	7
(3) 第2部意見交換(要旨) .....	9
1. 地名について.....	9
2. 空き家の増加について、市の計画について.....	9
3. 歩行者への注意促進について、公園について.....	10
4. 特別支援学級について.....	11
5. 地域のつながりの希薄化について、資金面の不安について.....	11
6. コミュニティセンター・コミュニティ協議会の役割について.....	12
7. 地域の縦のつながりについて.....	13
8. 成蹊学園のブロック塀について、日銀社員寮の壁について.....	13
9. 子どもの善行について.....	14
10. 待機児童について.....	14
11. マンション大規模修繕時の市内業者の活用について.....	14
12. 案内の充実について.....	15
(4) 閉会のあいさつ .....	16
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	17
3. アンケートでいただいた感想.....	32

4. 前回のタウンミーティング

(第8回平成18年11月)での主なご意見とその後の進捗状況..... 33

— 付属資料 —

第36回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

## 1. 発言の要旨

### (1) 開会のあいさつ

#### 【市長】



皆様、こんにちは。今日は、多くの方にご参加いただきありがとうございます。また、けやきコミセンの皆様には、ご準備いただきありがとうございます。節分が過ぎましたが、乾燥がずっと続いておりますので、火の元には十分注意してください。

タウンミーティングは地域ごとに行う方式、防災、子育てなどのテーマごとに行う方式、それからテーマも地域も限定せず、青空の下で行う方式と、様々なものを行ってまいりました。地域の皆様の声を直接聞いて、市政に反映していくのは、私の原点だと思っております、また、

地域の問題等を市長に直接言うのは、市民参加の一步と思っておりますので、今後ともご参加をお願いしたいと思っております。

現在、第五期基本構想・長期計画の策定作業を進めております。このたび、討議要綱が完成し、ホームページや、市報の特集号に掲載します。また地域ごとの意見交換会を開催してまいりますので、ぜひ、これからの長期的な施策についてご意見をいただき、市民の皆さんとともにいいまちづくりを進めていきたいと思っております。

#### 【けやきコミュニティ協議会 島森和子 代表】

皆様こんにちは。今日は、けやきコミセンまでおいでくださいましてありがとうございます。本日のタウンミーティングには、「自分たちのまちは自分たちでつくろう」という大きなテーマがございます。

日ごろ私たちけやきコミュニティ協議会もそうですし、町会やスポーツ団体、学校、防災関係等の市民活動団体等、皆さんが武蔵野市が住みやすい、いいまちになってもらいたいという思いで活動をなさっていると思います。ただ、いいまちとは、自然になるのではなくて、皆さんが何かをやることによって市民の方が元気になり、それが活力となっていくと思います。



普段の活動の中で、こうなったらとか、あるいは、ちょっと不満などを感じている方もいらっしゃるかと思いますが、いずれにせよ、地域が住みやすくなることを願っていると思います。皆さんは、ごく自然のまま、地域活動をしながら自分たちのまちをつくっていらっしゃいますので、今日は、いろいろなお話を聞いて、それを地域の活動に生かしていただけたらいいと思っております。どうぞ遠慮のないご意見をお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

※33～46 ページの「前回のタウンミーティング（第8回）での主なご意見とその後の進捗状況」の中から、代表的なものを抜粋して、市長が報告しました。

## (2) 第1部意見交換(要旨)

### 地域の活動の事例紹介

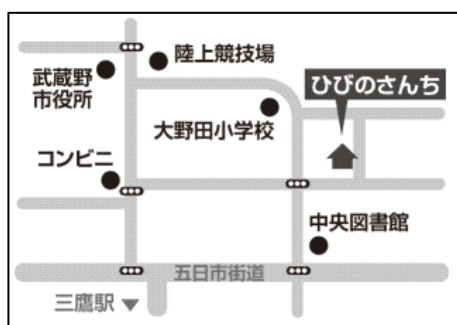
#### 「安心・安全のまちづくり」について(大野田地域防災の会 代表)

大野田地域防災の会では「私たちのまちは私たちが守ろう」「人と人をつなぎながら防災に強い明るいまちにしよう」という思いで、けやきコミセン、緑町コミセン、大野田福祉の会の3つの組織が一緒になり、スタートして一年が経った。資金面や人材面に関してはかなり恵まれており、タウンウォッチングや研修会などを通じて、人の輪も非常に広がって、最初は50通ぐらい出していたお知らせが、130通ぐらいになった。

今後は、ひとり住まいの高齢者や支援を必要としている方に対して、楽しい企画などを用意し、まちの中に連れ出して、人と人の輪を深め、お一人お一人が知り合いになっていただけるような工夫も行っていききたいと思っている。現在も行政にはご協力をいただいているが、今後も課題を共有しながら、長く続けていきたいと考えている。

今日ここにいらしている方で防災にご興味のある方は、ぜひ防災の会に入ってください、今後の活動を一緒にやっていければと思っている。

#### 「地域コミュニティ・居場所づくり」について(大野田福祉の会 運営委員)



大野田福祉の会は、特に高齢者の居場所として、平成21年4月より吉祥寺北町四丁目で、「ひびのさんち」を運営している。この家の所有者である日比野さんが非常に理解のある方で、週1回毎週火曜日の午前11時から午後3時までに行っている。2月1日現在で95回目になり、延べ人員は1,513人が利用している。行政の支援を継続していただきたい。

#### 【参考：ふれあいの居場所 「ひびのさんち」】

大野田福祉の会の方が、長年研究をされてきた居場所であり、地域の皆様が三々五々集まり、茶飲み話や趣味活動などが行われています。居住している家をそのまま利用しているので、実家に来たような“ほっとする場所”になっています。

### 1. 歩道の安全確保について

#### 【ご意見】

歩道の安全確保について言いたい。まず歩道の自転車走行禁止、それから、警察官が歩道を自転車で走るのは厳禁・言語道断。歩道は歩行者専用である。

#### 【市長】

自転車は車両ですので、歩道は原則、自転車は走れません。基本的には車道を走らないといけないのですが、ただ、お子さん等の歩道走行については特例等があったり、自転車通行可という歩道もあります。歩道では、歩行者に配慮して自転車に乗っていただくとい



うのが大原則ですが、実態としては、歩道であろうが猛スピードで走られる方がいらっしやるので、現在行っている自転車安全利用講習会の中では徹底して、危険性を指摘したうえで、ルールを守っていただくようにしております。警察にも、ご意見を申し伝えます。

**【ご意見】**

境南町に住んでいる。歩道に自転車の走行禁止という、看板を出してはどうか。

**【市長】**

注意喚起をするため、かたらいの道などには、「自転車走行は左」という看板を出しています。すべての場所に設置していくというのは、なかなか難しいのですが、危険箇所については看板を設置し、啓発をしていく取り組みが必要ですので、そういう箇所がございましたら、ぜひ教えていただけたらと思います。



「かたらいの道の看板」

**【ご意見】**

井の頭通りの歩道は、特に自転車の通行が激しいので、危険個所として認識してほしい。市内全域で、そういう掲示が簡単にできないのは、予算の問題なのか。役所はなんだかんだと言って事業が前に進まない。実行するという気持ちを持って、一步を前に進んでほしい。

**【市長】**

交通規制に関する様々な掲示については公安委員会との調整がまず必要になります。さらに井の頭通りであれば都道なので東京都との調整も必要でございます。

**【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。歩道の環境が市内最悪ではないかと思われる中央通りに面して住んでいる。安心して歩くことができないので、看板の設置を願う。

**【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。自転車が全く歩道を走らないということは無理なので、自転車も車もお互いに注意し合っていけばいいのではないかな。

**【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。五日市街道を自転車で走るのが、車が走っているので、車道を自転車が走行するのは難しい。また歩道には電柱があり、一苦労である。さらに標識がたくさんあると、行政も管理が大変だし、守る方も見分けるのが大変だ。文化会館通りでは、「自転車は左側」と書いてあっても、ルールを守っていない人がいる。看板を出すだけでなく、モデル地区をつくり、市民や子どもたちに教育していくことを徹底する必要がある。

**【市長】**

武蔵野市は起伏が少ないため自転車利用が多い都市です。三鷹駅は首都圏で1位の自転車利用台数で、4位が吉祥寺で、11位が武蔵境です。自転車は過密なのかもしれません。この問題は、一人ひとりがルールを守っていただかなければ、解決できません。標識があっても無視して走る方もいらっしやるので、市内を通る自転車の持ち主の方には、ル

ールを守っていただくよう、市の自転車安全利用講習会は市外の方も受講可能としています。

**【ご意見】**

成蹊大学の前の歩道橋を生徒・児童が渡っているのを見たことがない。本当に必要なのか。

**【司会】**

成蹊学園では、中学は横断歩道、小学生は歩道橋を上るように指導されているようです。

**【市長】**

歩道橋については、通学路に位置づけられているものは、撤去が難しいのですが、成蹊通りにあったみそら歩道橋は、耐震上問題があり危険だということで撤去し、かわりに横断歩道を設けました。今後、歩道橋につきましては、増やしていかない方針です。

## 2. 市民活動の場について

**【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。吉祥寺美術館の音楽室がなくなるという話を聞いた。また市民協働サロンが縮小される話も聞いたが、市民活動の場が減らされているようだ。音楽室は多くの人利用しており、場所としてもとてもいいところなので、たとえ武蔵野プレイスに音楽室のような施設が出来るとしても、ぜひ美術館に音楽室を残していただきたい。

**【市長】**

吉祥寺美術館の音楽室は、音楽練習用の部屋として多くの皆様に利用いただいております。しかし防音効果等、音楽の練習室としてふさわしいのかは、議論が必要と考えています。もちろん練習場所を確保することは必要ですが、練習環境の場という面で、美術館内に置く是非についても検討することも必要ではないかと考えております。

かつては、年間2～3万人であった美術館利用者が、今は5万人を超えており、利用者は増えています。美術館の機能の充実と、音楽の練習場所をどう確保していくかを今後議論したいと考えています。皆様のご意見をいろいろ聞いていきたいと思っております。

市民活動の場所については、現在拡充を続けておりますが、多くの課題が出ています。例えば、市民協働サロンがなくなるのではないかと、ということですが、今度、武蔵野プレイスに市民活動の拠点ができますので、「市民活動支援」の拠点としてはそちらを主としてまいります。市役所には「協働」の拠点としての場を残すなど、機能分担と連携をこれから検討していきます。市民活動の場はこれからもっと増やしていきたいというのが私の考え方です。

**【ご意見】**

境南町に住んでいる。「市民協働サロン縮小に反対することに関する陳情」を出している。

市民協働サロンは市役所にあるということに大きなメリットがあり、3年間、NPOのコーディネーターをはじめ各種委員の誠意と情熱を持って運営され、その評価は非常に高く、他の自治体からも見学に来ているほどである。今まで市民協働サロンのコーディネーター及び職員と各団体が立ち上げてきた各種事業が成果が出てきているときに、これを断

ち切るということは言語道断である。これまで行われてきたことは、新しい組織に引き継ぐと言っているが、人と人のつながりは、職員が変われば瓦解するのはだれが考えてもわかることであり、この計画の白紙撤回を求める。

**【市長】**

基本的には議会に陳情を出されていますので、私はそれに対しての直接的な見解は申し上げにくいのですが、先ほど申し上げたとおり、全市的な機能の拡大をし、より一層市民活動を推進していく予定であることを、ご理解いただきたいと思います。

**3. 元号の使用について**

**【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。武蔵野市では戸籍に関する証明書や住民票の写しなど、様々な証明書の請求にあたり、元号で日付を記入する書式になっている。元号はグローバル化している世界で通用するものではないと考えている。次々と元号が変わったら、その変更に変更に大変な労力や経費がかかることは明らかである。元号使用をやめていただきたい。

**【市長】**

元号の使用については研究してまいります。

**【企画政策室長】**

申請をいただく書類については、元号でも西暦でもお受けしております。

**4. NPOとの協働について**

**【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。年末の国の補正予算で、87億円くらいNPO関係予算として付いたそうだ。市町村が申請することになっているそうだが、市としてもNPO団体と協力してやれることがあるはずなので、呼びかけをしてみてもどうか。

**【市長】**

至急情報を調べてみますが、もしそういう取組みが確認できたら、検討すべきだと思います。

\* 回答については29ページ参照

**5. 駐輪場について、住みたいまちNO.1について、公園について**

**【ご意見】**

吉祥寺北町に住んでいる。駐輪場の問題について具体的な進捗状況を教えてほしい。

日経新聞で全国の市町村の住みよいまちのランキングが発表されているが、武蔵野市はIT関係では三鷹市に圧倒的に遅れている。例えば最近だと、韓国とかシンガポールでは、ipad（アイパッド）を子ども全員に配ってIT化を進めているようである。そこまでは期待しないが、遅れているIT化をどういうふうにカバーしようとするのか聞きたい。

それと、どういう部分をどういう形で武蔵野市をより住みよいまちにされようとするのか、市長のビジョンとして説明していただきたい。

最後に、市役所通りに大きな公園が整備されているが、お金がかかっているにも関わらず、利用する人が少ない。もし防災等を考えるのであれば、大きな木ではなくて、低い木を植えたらいいいし、だれでも剪定できるような形にしていれば、今後の市の予算も少なく済むのではないかと思っている。

### 【市長】

駐輪場の確保については、各駅ごとに様々な工夫を進めております。武蔵境駅周辺については、平成24年度という見込みが立っており、恒久的な駐輪場を確保するため、鉄道の高架下に駐輪場を設置しようということでJRと具体的な協議が進んでおります。

三鷹駅北口周辺については、具体的に何年までとは申し上げられませんが、数年かかります。商業地の一等地にある市の駐輪場の有効活用を検討しながら、こちらも恒久的な確保について研究も進めているところでございます。



「アトレ吉祥寺御殿山駐輪場」  
駐輪場を増床し、駐輪場を確保してもらいました。

吉祥寺駅周辺については、現時点では毎年、新たな駐輪場の確保を続けておりますが、ロングスパンで駐輪場の経営の仕方、設置の主体のあり方については議論が必要だと思っています。具体的な設置目標については、自転車等総合計画を策定し、必要な台数等を明確にしております。

また、公共だけが駐輪場を設けるのではなくて民間施設にも駐輪場設置を要望して、吉祥寺アトレの

ただ、吉祥寺駅周辺については、まだまだ数が足りていません。駐輪場を利用する圧倒的多数は鉄道利用者ですので、鉄道事業者に対しても駐輪場の確保について強く要請をしております。住みよいまちについて、別に回答いたします。

\* 回答については31ページ参照

### 【ご意見】

年寄りもリタイヤ組も増えるなかで、ほとんど使っていない公園にお金をかけるくらいであったら、体を動かす場所をつくったらよいのではないか。体を動かす器具のある公園をつくったら、医療費の負担が減るのではないか。比較的小金にゆとりがあるうちにそういう公園整備をやってもらいたい。

### 【市長】

市内には160の市立公園がありますが、それぞれの公園の利用状況が異なります。いろいろな課題を整理して、子ども向けなど目的に応じた整備を進めておりますが、公園のあり方については皆様のお声をいただきたいと思います。

### 【司会】

ほとんどの公園について、改修の際、ワークショップでやったり、意見を求めるための説明会を行っていますので、積極的にそういうところで意見を言っていただければいいと思います。

## 6. 旧中央図書館跡地について

### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。旧中央図書館の跡地の利用について、すでに何か進めているか。また、それが具体的に進められるときには、地域住民の意見を聞くのか。

### 【市長】

今後建替えが予想されている公共施設の代替用地等で利用ができないかとの案を持っておりますが、跡地利用については、今、第五期基本構想・長期計画を策定しており、そちらで議論しております。意見を募集しておりますので、ぜひ、そちらにご意見をいただけたらと思います。



「計画策定のワークショップ」

## 7. 保育園の不足について

### 【ご意見】

保育園の不足が取り上げられているが、旧図書館跡地に保育園をつくってはどうか。

### 【市長】

待機児童対策については、重要な課題であると捉えております。今年4月に待機児解消に向けては、グループ保育という新しい仕組みを検討して、受け入れ数の確保を図ってまいります。

また、幼稚園の入園者が減っていて、定員割れしている状況がありますので、幼稚園の延長保育等の待機児の解消に向けた幼児施設の有効活用や、東京都の認証保育所の制度を使った乳幼児のお子さんへの施設の拡充ができないか検討しております。

また、認可保育園については、北町保育園を移転・増築し、約30名程度定員を拡大する予定ですが、完成まで3年ぐらいかかります。

もう一つは、武蔵野市立の唯一の幼稚園であった境幼稚園を見直し、認定こども園という形で保育園と幼稚園を合体したような施設の建設を予定しており、保育園の園児として約60名が入所できる予定でございます。こちらは完成が2年半後ぐらいです。

認可保育園の設置のご要望もありますが、人口予測では、10年ぐらい先から子ども数が減ってくるようなので、今後の子どもの数の推移を見極めながら、子どもの数を確保していくための少子化対策、出産対策も併せて検討していきたいと思っております。

## 8. 歩道への商品の陳列について、商店街への駐輪場設置について

### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。足が悪く杖を使って歩いている。どうにかバスに乗って吉祥寺のまちに出ているが、吉祥寺のダイヤ街では、歩道に飛び出して商品や看板を並べており、歩きづらくて危ない。歩道に商品を並べていることについて、市では指導できないのか。また、商品を引っ込めて、買い物のある人の自転車を置かせてほしい。自転車を遠くに置いて、買ったなら取りに行くということはとても不自由になってきている。

**【市長】**

吉祥寺はお客さんが多く、人込みで歩きづらい空間になっています。大変活気があるまちとも言えるのですが、ご指摘いただいたとおり、商店の商品の陳列が路上まで出ているところが結構見られます。前から課題と思い、地域の皆様とパトロールを行っていますが、なかなか改善が進んでいません。商店街自体が取り組みをしていただかないと、各商店と行政だけの関係ではなかなか改善が難しいので、それぞれの商店街と話をしてみたいと思います。

**【ご意見】**

それらの行為に罰則はないのか。

**【市長】**

基本的には、道路を占有していますから、罰則がありますが、個々に取り締まりを行うのではなく、どうやったら商品の歩道の占拠がなくなるかについては、地元商店街と警察と話をすべきだと思います。

それから、自転車問題は、例えばサンロードやダイヤ街の中に自転車が乗り入れることが安全かという、難しいのではないかと思います。ただ、一般の商店街であれば、当然そのお店に買い物をするためには、目の前に駐車できたほうが利便性がいいので、セットバックしたところに若干の駐輪場スペースを設けるなど、各商店の努力が必要ではないかと思います。

**【ご意見】**

商店を建てるときに、駐車を設けなさいとかという指導は市でできないか。

**【市長】**

大きな店舗については駐輪場の附置義務がございますが、小さなお店については、そういう設置義務は課せられないので、それは商店街単位で取り組むべきだと思います。商店街については、そのことについて投げかけており、民間がつくる駐輪場については、市としても支援をしていくため補助制度をつくりました。そのような制度を活用しながら、商店街の取り組みを支援してまいります。

### (3) 第2部意見交換(要旨)

参加者より、前半の意見交換を聞いてのご意見を、参加者の皆様に「ご意見カード」に記載していただき、休憩中に回収した。

#### 1. 地名について

##### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。私は、武蔵野市という名前を非常に大切にしてくださいということを言っている。私はこよなく武蔵野市を愛しているが、近隣の市町村に比べて、従来より武蔵野市のブランド力が低下しているのではないかと思う。

また、市長が市議会で、「武蔵野市の玄関は三鷹駅である」ということを言っていたが、本当に武蔵野市の玄関というのは三鷹駅なのか。どうして市長がそのように言ったのか。

武蔵野市は、吉祥寺のまちから恩恵を受けていると思う。もっと吉祥寺のまちおこしに市役所が積極的に取り組むべきと考える。

最後に、市で発行している「コミュニティセンターガイド」では、地域を吉祥寺地区と三鷹地区、境地区と3つに分けていて、このけやきコミセンは、三鷹地区になっている。けやきコミセンは、吉祥寺北町にあると思っていて、三鷹にあるとは思ったことはない。

##### 【市長】

私も武蔵野市に生まれ育っておりまして、武蔵野市をこよなく愛している一人だと自負しております。どの駅も大切な市の入り口、玄関口であります。市では、基本的には三鷹地区という表現はあまり使っておらず、中央地区と呼んでいます。

吉祥寺という名前は、全国的に有名であります、「武蔵野市」の場所がなかなか伝えられていない。私としては、「吉祥寺」ないし関東一円の呼び方であった「武蔵野」という二枚看板の資源を大切にしていきたいと思っております。

三鷹駅の北口を武蔵野口にという陳情も提案されております。三鷹駅を北側に降りたら武蔵野市だということをもっと宣伝すべきだと思います。

#### 2. 空き家の増加について、市の計画について

##### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。タウンミーティングの報告書を読むと、かなりの市民の方がタウンミーティングに参加して、いろいろな活動があることを知って自分も何か役に立ちたいと思っているようだ。市民を啓発したり、自分の生活を見直す機会になっているので、意味があると感じている。

策定中である第五期基本構想・長期計画や都市計画マスタープラン、住宅マスタープランなどの計画を読むと、内容はすごく充実して、調査も徹底してやっていると感じるが、実行にかける熱い思いが伝わってこない。自分たちがこうするというマニフェストがあれば、市民を動かす力になると思う。

それと、人口が非常に不安定な状態で、人口に対する計画が都市計画マスタープランとか第五期基本構想・長期計画に何も入っていない。

また、市内には6,800世帯も空き家があるとの報告があるが、住みたいまちナンバーワンが、空き家のゴーストタウンになっているということをどういうふうに感じているのか。

それから、ゴーストタウン化と同時に孤独死の問題がある。変死をする市民が去年で200人近くもいるということを聞いている。市長の考えを聞きたい。

#### 【市長】

いろいろ資料をご覧くださいありがとうございます。計画に記載したことは、何年までにやるということ、これから具体化していく予定でございます。市の人口予測については、今後10年間微増という形で、13万9,000人、ないし14万人ぐらいまでと見ておりますが、その後は急激に下がっていくと推計をしております。人口推計に見合った政策が必要であり、去年、高齢化率が20%を超えましたが、少子高齢化で、高齢化率をもっと増えていきます。高齢者が元気に暮らせるまちづくりというのが大きな課題となっております。今回の第五期基本構想・長期計画でもそのような人口推計をもとに議論を展開しているところでございます。

また、空き家の問題ですが、6,800世帯というのは、これは東京都の推計値をもとにした数値ですが、市内に7万世帯がありますので、6,800世帯はその約1割弱になります。空き家については、これからもう少し有効活用できないか検討しており、ファミリー層がもっと住みやすいような工夫も含めて、この大切な住宅資源の活用を考えていきたいと思っております。

それから、人口はほとんど40年間変わってないのに、40年前は約4万世帯あった世帯数が、現在では7万世帯を超えています。つまり一世帯あたりの平均人数が2人を切っており、7万世帯の半分は単身世帯と言われております。したがって、単身世帯の人たちが孤立化しないような地域社会をどのようにつくっていくのかが大きな課題です。

地域のネットワークについては、今回の第五期基本構想・長期計画策定の中でも、大きな課題として、地域のコミュニティをどうするのか、地域力をどうやって高めていくのかが、挙がっています。新年1月1日号の社協の広報紙である「ふれあい」の中では、「ひびのさんち」に関しての座談会を行いました。吉祥寺北町では地域の皆様が、率先して居場所問題に取り組んでおり、大いに評価して、これをモデルとして全市的な居場所づくりについて考えていきたいと思っております。

### 3. 歩行者への注意促進について、公園について

#### 【ご意見】

武蔵境に住んでいる。自転車の問題だが、武蔵境の南口から西の方へいく生活道路は、あまり自動車は通らない。しかし学生が多く、何人も横に並んで歩くので、自転車は通りづらい。歩行者にも注意を促すようなことをしてはどうか。そして高齢の方が店の前に、自転車がとめられず、駐輪場から歩いていくのは大変だという話があったが、自動車には、障がい者向けの特種な通行許可証があるので、自転車も、武蔵野市で全国に先駆けてそのような制度を作ったらおもしろいのではないかと。

公園の問題について、だれも人がいない公園は無駄に思われるかもしれないが、空間の



効用としてはあってもいいのではないかと思う。

\* 回答については、26ページ参照

#### 4. 特別支援学級について

##### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。むらさき、いぶき学級に発達障害が加わったが、変化がなく、親としては大変戸惑っている。新しい学級をつくって対応してほしい。

いろいろな情報が流れているが、小さい子どもを持っていると、広く情報を入手し、それについて考えることが難しい。小学校へ入学する際に、ようやく自分の子どもは障がいがあるのではと考える。昔であれば、勉強は得意じゃないということで済まされてきた状況が、数年前から特別支援学級ができ、発達障害の子についても特別支援学級のほうに入るという形になってきた。しかし、周りの方も特別支援学級に対して理解が追いついていないのではないか。これは、情報が行き渡っていないということにも関係していると思う。情報を入手しにくい状況の人たちに対しての情報発信を、もう少しわかりやすくしていただけたらうれしい。

発達障害については、多種多様なパターンがあり、個別の対応を考えなくてはいけないと思うが、手助けを自ら求める子どもはいないので、ぜひ親の苦労という部分も分かっていたら、対応を少し厚くしていただきたい。

##### 【市長】

特別支援学級については、様々な課題に応じて取り組みを進めてきましたが、まだ十分に機能していないということも感じております。国でもようやく、昨年12月に、障害者自立支援法を一部改正し、発達障害も1つの障害として支援の枠組みに加わってまいりました。必要な対応は、個々人によって違うので、法律の後押しを踏まえて、市としてもできることは最大限努力し、状況を十分に把握し、その子にふさわしい取り組みにつなげていきたいと思っております。今後とも特別支援の取り組みは重視すべきだと思っております。

#### 5. 地域のつながりの希薄化について、資金面の不安について

##### 【ご意見】

先日、自分の身近で、一人暮らしの隣人がマンション内で倒れた。身内が駆けつけ、幸い意識があって助かったが、身内がいなければどうなっていたかわからない。また、終末医療で入院費が1ヶ月、20万かかり、国民年金では、その額は払い切れないという話も聞いた。

市内に2万7,000人以上の高齢者がいるが、半分以上はひとり暮らしと聞いている。最後まで子どもたちに迷惑かけないで生きていきたいという人たちは頑張っている。しかしお金がない人はどうすればよいのか。市民のコミュニティで解決できないか。

##### 【市長】

地域にもよりますが、全体として隣近所の付き合いというのは希薄であると感じています。特に集合住宅の場合、今お話のあったようなことが起こりがちです。地域の皆様の話

し合いの中で、地域のつながりを強める取り組みも進めていただきたいし、その取り組みに対して市ができる支援について、議論していただきたいと思います。

孤立を防ぐというのは大切な取り組みでございますが、これは市の政策で一方的に行う話ではないと思っています。地域の皆様から提案していただき、市として支援していきたいと考えています。

武蔵野市は30年前に福祉都市宣言を行い、それ以来福祉政策には力を注いできましたが、30年経って、これまで言われてきた「福祉のまち」を見直し、新たな福祉を考えていかなければいけないと思っております。

そのキーワードが「福祉でまちづくりを考える」であり、地域生活での福祉をもっと考えていければと思っております。今年、武蔵野市福祉総合計画を策定するとともに、既に大野田福祉の会にはモデル事業として取り組んでいただいておりますけれど、この課題については、さらに議論を深めていきたいと思っております。

## 6. コミュニティセンター・コミュニティ協議会の役割について

### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。「福祉のまちづくり」ということで、あらゆるところに福祉の視点を入れる考え方がある。現在、福祉の活動を行っているが、コミュニティセンターがまちの核として一番大事であると思っている。コミセンがどういう役割を果たすかで、その後のまちのあり方が変わってくるというのを実感している。



コミュニティセンターの役割というと、私は大きく言って2つあると思っている。1つが施設の管理運営で、気持ちよく大勢の方に使っていただく。もう1つは人をつなぐ、地域の人や団体をつなぐという役割である。

しかし、それを通じてまちと人をどうつなぐのか、その視点があるのとないのでは、10年、20年で地域の様子が違ってくる。コミュニティセンターがもう少し自らに活を入れていくには、どうすればいいか。市も自主3原則を大事にしてくださるのはわかるが、大事にしながら対等につき合うということも必要と考える。

大野田福祉の会では、4月から災害時要援護者支援事業を行うが、非常に荷が重い。コミュニティ、防災、福祉の分野で関わっている現在の担い手が高齢化しており、次の世代の担い手は、専業主婦が少なく、日中はお仕事をされている方が多い。そういう方たちをいかに、福祉や地域活動はおもしろいと思わせるのかもコミセンの大事な仕事の1つと思っている。また高齢者の方から、専門的なことを聞かれてもわからないので、地域の中に総合相談所をぜひつくっていただきたい。モデルケースで週に1回とか、月に1回でもいいから、そこに地域のことをコーディネートする専門家を配置していただきたい。幸い、社協のほうでは、コーディネートしたいと言っているのでも、市でも財政援助をお願いしたい。

## 【市長】

コミュニティセンターについて、30年にわたる一定の活動を、大いに評価すべきと思っております。しかしコミュニティ協議会が地域のコミュニティを束ねるということでないし、また地域の課題をすべて解決するところでもないと思っております。いろいろな課題に応じて生まれるそれぞれの集まりの和を、つなげていくのがコミュニティ協議会ではないかと思っております。また地域のコミュニティが希薄化する中で、それに対して提案をしていくのも役割の一つではないかと思っております。

## 7. 地域の縦のつながりについて

### 【ご意見】

けやきコミュニティセンターの活動に子どもが2歳になったときから関わっている。先輩の方々の活動を見て、「自分ができる範囲で」という言葉をかけてもらいながら活動してきた。けやきコミセンの活動の中で助け合いというものを教えてもらった。

若い人は、どんなことで自分が地域に関わることができるのかということについて学ぶチャンスがない、小さいお子さんをお持ちの方に対しての支援について、市のほうでも頑張っていることは感じているが、どうもサービスになっており、行けば悩みごとを解決してもらえ等、自分たちで考えたり活動するための場所がないと感じている。

けやきコミセンでは、小学校高学年向けの「むさしのミニタウン」といった機会があるが、市民の力を底上げしていくための方法を事前に若い人たちに教えていってほしいと思っております。

子育て世代の人を見ていると、自分の力があるはずなので、次の世代の自発性を高める機会というのをもっと増やしていただきたいし、自分もまちの中の一員であるということを入れて生活してほしい。武蔵野市では、ひとり住まいの方が多くということだが、若い単身者もいるので、地域参加についての支援というものを考えていただきたい。

### 【市長】

地域のコミュニティが希薄化しているなか、地域コミュニティのあり方について提案していくのは、コミセンではないかと思っております。いろいろなイベントを多世代が担うことによって、コミュニティ形成は、縦につながっていくのではないかと思っております。

## 8. 成蹊学園のブロック塀について、日銀社員寮の壁について

### 【ご意見】

扶桑通り沿いの成蹊学園の壁は、もし地震でも起き、道路側に倒れたら大変なことだ。景観の観点もあるので、塀を直していただきたい。ぜひ市からも成蹊学園にお願いしていただきたい。

また、北裏公園の横に入っていくと袋小路になっており、日銀のコンクリートの壁がある。以前、公園をつくるために市と話をしたときに、あの塀も何とかしてくれないかとお願いしたことがあるが、日銀の問題だと言われた。壁の倒壊で道がふさがれたら、袋小路になっているので、災害時に避難路が確保できない。

### 【市長】

成蹊学園の塀については、歩道空間がないということもありますので、成蹊学園には課題提起をしているところがございます。防災の視点からも市内の塀はなるべく減らすという方針ですので、それを生け垣化するなども含めて、再度、成蹊学園にもお願いしていきたいと思います。

## 9. 子どもの善行について

### 【ご意見】

私は足が悪いのですが、あるお嬢さんが「荷物を持って行ってあげる」と言ってくれました。こんなやさしい子が吉祥寺北町に住んでいるなんて。声をかけられるとうれしい。日頃から子どもが積極的に挨拶するような明るいまちにしていきたい。

### 【市長】

市には、「子鳩・けやき表彰」という制度があります。小さな親切でも、心温まる真心こもった行動はぜひ市に推薦していただきたいと思います。

## 10. 待機児童について

### 【ご意見】

今の若夫婦は身軽だから、待機児童の対策をすれば、あのまちは待機児童が少ないというところで、移り住んでくるのではないかと。すると人口も増えていくと思うので、待機児童の減少に力を注いでいただきたい。

### 【市長】

待機児対策については、市の大きな課題でございますので、子育てしやすいまちに向けてさまざまな取り組みを進めていきたいと思っています。

## 11. マンション大規模修繕時の市内業者の活用について

### 【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。市内には、マンションが非常に多く、補修のために10年ごとに外壁塗装だけでも何千万という金額が動く。マンションの理事長をしているとき、市内の業者を使えば、後々まで面倒を見てくれるのではと思いき、商工会議所から紹介いただいた事業者をお願いした。そのときは、駐輪場をつくるということで建築確認が必要だったが、その業者さんが嫌がり、結局、市外業者をお願いしたことがあった。

地産地消ではないが、市内の業者さんにもう少しマンション対策に対する協力要請をしていただいて、市内業者に依頼できる仕組みをつくれませんか。

### 【市長】

どのマンションでも大規模修繕は不可欠でございますので、そういった工事に地元の業者で対応できないかとの課題について、地元の業者さんに確認してみたいと思っております。また、マンションには建てかえの問題もあり、それに向けて市が支援できないか考えているところです。

## 12. 案内の充実について

### 【ご意見】

コミュニティセンターをはじめ重要な施設でのイベントのお知らせを駅などの目立つところに掲示していただきたい。また、市役所の当直に今日のタウンミーティングのことを聞いてもわからなかったなので、わかるようにしてほしい。

また施設の案内表示についても、充実させていただきたい。

それから、福祉の問題で、福祉公社の移転先について、いくらでも余っている土地、建物があるんだから、安く手に入れてほしい。

### 【市長】

市のお知らせというのは、なかなか伝わりにくいと言われます。案内についてですが、市の玄関口に必要最小限な情報がないと困りますので、公共サイン計画も進めているのですが、その取り組みの一環として、今後、駅前での情報機能の強化というのを考えていきたいと思います。

それともう一つは、案内板だけではなくて、人を介したインフォメーションというのにも必要と思っております。駅舎の改修が始まる吉祥寺や武蔵境駅について、インフォメーションコーナーの設置について協議をしているところです。

#### **(4) 閉会のあいさつ**

##### **【けやきコミュニティ協議会 島森和子 代表】**

今日は長時間に渡りありがとうございました。たくさんの意見をいただくことが、これからのいろいろな活動につながっていくと思います。コミセン側もまた、いろいろな皆さんのご意見の中から考えさせていただくようなことがあるかなと思っております。

##### **【市長】**

本日は、ありがとうございます。存分に私も時間を割いて言わせていただいたのですが、やはり課題がたくさんあります。どんな地域でも課題を持っており、その課題の解決には、なかなか難しい問題がありますけれど、第一歩として地域の中で課題を共有し、その課題解決に向けて話し合いをしていただければと思っております。そして、けやきコミセンは、市内でもいろいろなことを先行して取り組んでいただいているコミセンであり、その取り組みをぜひこれからも続けていただきたいと思っております。

開会の挨拶でも述べましたが、いよいよ第五期基本構想・長期計画も本格化してまいりますので、それに対しても様々な意見をいただきたいと思っております。皆様の意見をいただきながら、そして、皆さんと一緒に力を重ねながら、この地域のよいまちづくりを、そしてよい武蔵野市のまちづくりを進めていきたいと思っております。

## 第36回タウンミーティング意見一覧

(※アンケート・ご意見カードでいただいたご意見も含みます)

番号	分類	ご意見	市の対応方針
1	福祉のまちづくり	福祉でまちづくりという考え方が広まっています。まちの中のあらゆる場面、施策の中に福祉(大勢の幸せ)の視点を持ち込んでいただきたい。	福祉の視点からまちづくりを考えるということは、大変重要であると考えています。現在策定中の第五期基本構想・長期計画をはじめ、平成23年度に改定予定の福祉総合計画や平成23年度から平成24年度にかけて市民社会福祉協議会が策定する予定の地域福祉活動計画においても、この考え方のもと、様々な機会をとらえて市民の皆様に参画していただきながら検討するとともに、市の他の部署とも連携を図ってまいります。
2	地域福祉	高齢者の方から、専門的なことを聞かれてもわからないので、地域の中に総合相談所をぜひつくっていただきたい。モデルケースで週に1回とか、月に1回でもいいから、そこに地域のことをコーディネートする専門家を配置していただきたい。	総合相談所については、どういう機能が必要かということや、現在市民社会福祉協議会で各地域に配置している地域福祉コーディネーターの役割も含め、平成23年度に改定予定の地域福祉計画や平成23年度から平成24年度にかけて市民社会福祉協議会が策定する予定の地域福祉活動計画において検討してまいります。
3	高齢者に対する見守り	ゴーストタウン化と同時に孤独死の問題がある。変死をする市民が去年で200人近くもいるということを聞いている。市長の考えを聞きたい。	<p>孤独死については大変重要な課題になっています。近所付き合いやコミュニティ活動の喪失、プライバシーを尊重する傾向があるなか、地域の民生委員による活動、災害時要援護者支援事業の実施、在宅介護支援センターの総合相談と実態把握、見守りにつながるサービスの提供などにより支援対応を行っています。</p> <p>しかしながら、市では、普段介護の必要がなく、市や地域等との交流や関わりのない方に対する情報収集が大きな課題であると認識しております。核家族化、単身世帯の増加、高齢少子社会等、今後もこれらの傾向が進む中で、近隣関係の希薄化がますます問題となっていきます。</p> <p>市内でいきいきと暮らし続けるためには、市民が地域コミュニティにおける近隣関係等、目指す地域社会像について広く議論し、共有していくことが必要です。現在策定中の第五期基本構想・長期計画や、平成23年度に策定予定の健康福祉総合計画においても地域のコミュニティや地域との関わりなどについて検討してまいります。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
4	高齢者	<p>高齢者という言葉がハッキリしない。年齢によるイメージで語りすぎてはいないか？もう少し細かい対応が必要ではないか。</p>	<p>高齢者といっても、その制度により年齢の捉え方は様々です。現在でも要介護者に対する支援、介護予防、健康づくり、生きがいつくり等、状況に応じた施策を行っています。現在策定中の第五期基本構想・長期計画や健康福祉総合計画においても、様々な角度から検討していきます。</p>
5	高齢者	<p>市内に2万7,000人以上の高齢者がいるが、半分以上はひとり暮らしと聞いている。最後まで子どもたちに迷惑かけないで生きていきたいという人たちは頑張っている。しかしお金がない人はどうすればよいのか。市民のコミュニティで解決できないか。</p>	<p>現在、民間アパートの借り上げによる福祉型住宅が181戸、都営住宅として50戸を確保しており、見守り支援の機能がついたものもございます。今後も民間住宅を活用した高齢者や障がい者の居住安定への取り組みを実施してまいります。</p> <p>地域にもよりますが、全体として隣近所の付き合いというのは希薄であると感じています。特に集合住宅の場合、今お話のあったようなことが起こりがちです。地域の皆様の話し合いの中で、地域のつながりを強める取り組みも進めていただきたいし、その取り組みに対して市ができる支援について、議論していただきたいと思っています。</p> <p>孤立を防ぐというのは大切な取り組みでございますが、これは市の政策で一方向的に行う話ではないと思っています。地域の皆さんから提案していただき、市として支援していきたいと考えています。</p>
6	子育て支援	<p>所得が上がったことから、住み慣れた武蔵野で子育てをしたいと思い、市内で持ち家を取得した。ところが、所得が上がったことから児童手当が打ち切られてしまった。しかし、住宅ローンの返済があり、生活水準が変わったわけではない。今は子ども手当で代わって、これは改善されたが、もし若い世帯の定住を望むなら、何らかのインセンティブ(税制優遇など)を考えるべきではないか。</p>	<p>子育て家庭への経済的支援については、乳幼児や児童を対象に、現在、子ども手当と乳幼児医療費助成、義務教育就学児医療費助成があります。</p> <p>子ども手当等の現金給付について、国の役割と考えています。市では、すべての子どもたちの健やかな育ちを大切にするため、第三次子どもプランに基づき、様々な施策を充実させています。現在、中学校修了前の子どもの医療費を無料化して子育て家庭への支援を行っています。</p> <p>国や東京都、他区市の少子化対策や子育て支援施策の今後を見据え、本市の他の施策と併せて総合的に研究したいと考えます。</p>



番号	分類	ご意見	市の対応方針
7	保育園	<p>保育園の不足が取り上げられているが、旧図書館跡地に保育園をつくってはどうか。</p> <p>今の若夫婦は身軽だから、待機児童の対策をすれば、あのまちは待機児童が少ないということ、移り住んでくるのではないかと。すると人口も増えていくと思うので、待機児童の減少に力を注いでいただきたい。</p>	<p>市では、武蔵野市立境幼稚園の発展的解消後の子育て支援施設として、保育所型の認定こども園「武蔵野市境こども園(仮称)」の開園(平成25年4月)を予定しております。また、北町保育園園舎の建て替えによる定員数の増加を計画しております(平成25年4月～)。</p> <p>認可保育所及び東京都認証保育所の増設、家庭福祉員(保育ママ)の増員など待機児解消に向け、取り組みを進めてまいりましたが、依然として待機児童の解消には至っておりません。そこで、緊急の待機児対策としてグループ保育事業を始めております。具体的には、市内にあるUR都市機構の賃貸物件を活用した小規模のグループ保育室を2箇所、5月1日に開設します。</p> <p>また、現在第五期基本構想・長期計画の策定が進められており、この中で今後の公共施設配置や大規模未利用地・低利用地の活用方策等についての基本的な考え方についても検討されているところです。旧中央図書館跡地につきましては、今後建替えが予想されている公共施設の代替用地等で、利用できないとの案を持っております。</p>
8	青少年育成	<p>私は足が悪いのですが、あるお嬢さんが「荷物を持って行ってあげる」と言ってくれました。こんなやさしい子が吉祥寺北町に住んでいるなんて。声をかけられるとうれしい。日頃から子どもが積極的に挨拶するような明るいまちにしていきたい。</p>	<p>市では篤志家からいただいたご寄付を基に、子どもたちの善行を表彰する子鳩・けやき表彰制度を実施しています。この制度は、ささやかだけれど人の心に灯を点すような行いをした子どもに光をあて、表彰することによってそういった行いが正当に評価されること、また、この表彰をきっかけにそういった行いが広がっていくことを期待しております。是非、このような子どもを表彰対象として推薦いただき、市内をより明るく、善行にあふれたまちにしていきたいと思っております。</p>
10	特別支援学級	<p>むらさき、いぶき学級に発達障がいが増えたが、変化がなく、親としては大変戸惑っている。新しい学級をつくって対応してほしい。</p>	<p>本市では発達障がいのある児童生徒に対するより専門的な指導を行うため、情緒障害等通級指導学級を第四小学校、桜野小学校及び第二中学校に設置しております。また、一日一時間程度の短時間指導を行う特別支援教室を小学校5校で運営しております。今後も障がいのある児童生徒の教育的なニーズに応じた多様な学び場の整備を検討します。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
11	特別支援学級	<p>発達障がいについては、多種多様なパターンがあり、個別の対応を考えなくてはいけないと思うが、手助けを自ら求める子どもはいないので、ぜひ親の苦労という部分も分かっていたら、対応を少し厚くしていただきたい。</p>	<p>発達障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、専門家スタッフの助言を受けながら個別指導計画を作成するなど決め細やかな指導支援に努めております。また必要に応じてサポートスタッフやティーチングアシスタントを配置しています。</p>
12	ごみ減量	<p>吉祥寺は大好きなまちである。さらなる活性化のためには、市外からのお客様へも「武蔵野市」としてルールを浸透させることはできないか？事業系ごみを減らすためにも食べることの大切さ、残さずに食べてもらうことを進めるような取り組みなどできないか。</p>	<p>都内有数の商業地区である吉祥寺を有する本市は、事業系ごみの排出量が多摩の他の自治体と比較しても高い水準にあり、事業系廃棄物対策がごみ施策の大きな課題のひとつと認識しております。ごみを多量に排出する事業所には古紙類や生ごみの分別資源化等の取り組みにご協力をいただいております。平成14年度に15,820tあったこれら事業系持込ごみは、平成21年度には9,785tと約4割減量しています。</p> <p>市では、生ごみ・雑紙の全量資源化を実施してきた事業者はその功績を認定する、ごみ減量資源化推進事業者(ECOパートナー)認定表彰制度を設けるなど、今後も引き続き事業系廃棄物の分別・減量・資源化指導に取り組んでまいります。</p> <p>また、家庭から出る生ごみを出さないような取り組みとして、作り過ぎない、買い過ぎない、食べ物を残さないよう、ごみの発生抑制の観点からごみの減量の啓発を推進してまいります。</p>
13	緑	<p>緑の西高東低を是正する具体的な取り組みについて、具体的にお話下さい。</p>	<p>市内における西側の緑に比べ東側に緑が少なく、東側は住宅地が密集していることから、新たな土地の取得が難しい状況にあります。引き続き、土地の取得を検討しつつも、借地公園の可能性についても探り、公園緑地の拡充を進めることが、具体的な取り組みとなるかと思えます。</p> <p>また、市内の緑の多くが民有地に依存していることから、窓口等で緑化の指導や接道部分への緑化を誘致するなど、所有者の方々のご理解とご協力をいただき、緑化推進をすすめていくことが不可欠です。</p> <p>今後も「みどり」に対し、高い意識をお持ちいただき、ご協力等いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
14	公園	武蔵野市は、各公園にお金を使いすぎではないでしょうか？そのため、高齢者に對して税金が高いのではないのでしょうか。小さな公園が多すぎます！！	緑が持つ役割として、都市環境改善、生態系保全、レクリエーション、都市景観構成、防災などがございませす。武蔵野市は全国で1位、2位を争う、人口密度であり、成熟した都市でありますので、大きな公園用地を確保するのはなかなか難しい状況でございませす。そのような中でも緑の創出ということで、小さいながらも地域に密着した公園を整備しております。今後も引き続き、限られた貴重な予算を有効に活用するため、平成22年に策定された公園・緑地リニューアル計画に基づき、公園の改修等を行ってまいります。
15	公園	市役所通りに大きな公園が整備されているが、お金がかかっているにも関わらず、利用する人が少ない。もし防災等を考えるのであれば、大きな木ではなくて、低い木を植えたらいいし、だれでも剪定できるような形にしていれば、今後の市の予算も少なくて済むのではないかと思っている。	市役所の通りに面している公園は、「むさしの市民公園」「中央通りさくら並木公園」の2箇所あり、どちらの公園についても色々な方のご利用をいただいております。  むさしの市民公園につきましては、土日の利用も含め、様々なイベントにも使われておりますし、中央通りさくら並木公園につきましても、平日のお昼時など、のんびりとランチを楽しまれている方もいらっしゃいます。中央通りさくら並木公園は平成22年度から開園した新しい公園であります。ワークショップ等を重ね、地域の方の要望・ニーズ等をふまえ整備された公園でございませす。  親子連れで自発的にゴミ拾いなどしていただいている経緯もあり、緑地や空地としての機能も持ち合わせる地域に愛されつつある公園となっているのではないかと考えませす。
16	公園	ほとんど使っていない公園にお金をかけるくらいであったら、体を動かす場所をつくったらよいのではないか。体を動かす器具のある公園をつくったら、医療費の負担が減るのではないか。比較的小金にゆとりがあるうちにそういう公園整備をやってもらいたい。	平成22年度に策定しました公園緑地リニューアル計画では、健康増進施設の充実を掲げています。その計画に基づき、地域の方にとってどのような公園が望まれているのか、地域のニーズを反映した公園改修等を進めます。
17	商店街の駐輪場について	商店を建てるときに、駐車を設けなさいとかという指導は市できないか。	大規模店舗の場合は駐車場の付置義務がありますが、商店という要件だけで駐車場を設置するような指導は、産業振興という側面からはできません。大規模な施設の新築・増築・改築に関しては、駐輪場の附置義務がございませすが、小規模な店舗については、可能な限り駐輪場を整備していただいております。  また条例施行以前に建築された建物については、義務がありませんので対応に苦慮してございませす。民間が作る50台以上の駐輪場については、市で建設費の一部を補助する制度を活用しながら、今後も商店街に働きかけてございませす。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
18	吉祥寺商業活性化	<p>武蔵野市は、吉祥寺のまちから恩恵を受けていると思う。もっと吉祥寺のまちおこしに市役所が積極的に取り組むべきと考える。</p>	<p>吉祥寺の活性化については、春、秋のウェルカムキャンペーンへの補助、吉祥寺薪能への支援、NEXT吉祥寺事業への補助、イルミネーションへの補助、ムーナビという携帯端末を活用したナビゲーション事業への支援、さらには吉祥寺アニメフェスティバルを通じた、アニメを活用した活性化事業の実施等々、様々な取り組みを行っています。 今後も吉祥寺活性化協議会ともさらに連携し、必要な支援に取り組んでまいります。</p> <p>また、武蔵野市観光推進機構が平成22年7月に発足し、市内の観光資源を活用した様々な事業を検討、実施しています。</p>
19	防災	<p>防火・防災の件ですが、市はもっと自助・公助のつなぎとして、主導的立場を強くしてはと思います。また、災害後、3日までは学校、施設などにとどまって良いことになっていると聞きましたが、その後のこと、3日以降はどのような対策をとっているのでしょうか？ また、学校での防災訓練の時期について知りたい。</p>	<p>日頃より市民の皆様には「自分のいのちは自分で守る」を合言葉に、災害時への対策として、避難しなくても済むように家の耐震化、家具転倒防止器具等の設置、家族分の水・食糧・簡易トイレの3日間分の備蓄等を呼びかけております。</p> <p>市では市立小中学校及び都立高校を避難所として指定しており、建物の安全が確認された後、災害の状況に応じて避難所を開設します。</p> <p>食料については、震災後2日間分の食料を備蓄しており、3日目以降については、道路障害物除去が本格化し輸送手段が確保されることにより、武蔵野市米穀小売商組合や東京むさし農業協同組合など協定を結んだ団体より食料を調達し、避難所において、被災者向けの炊き出しを行う計画となっております。</p> <p>避難所につきましては、学校授業の再開等もございませんので、避難者ができるだけ早く自宅に帰り、元の生活を送れるようライフラインなど応急復旧を早期に完了させるとともに、自宅が被災し住むことが困難となった方には、応急仮設住宅等の提供を行うことにより避難所生活からの早期移行を図ります。</p> <p>また、学校を利用した訓練としては、総合防災訓練と初動地域防災訓練を行っております。 総合防災訓練は、毎年8月末に実施。初動要員の参集や避難所の開設・運営を目的とした初動地域防災訓練は全避難所を対象に毎年10月～11月にかけて実施しております。 日程につきましては、市報、市ホームページ、防災安全センターWEB等でお知らせいたします。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
20	防災	<p>防災上の市の「飲料水」「トイレ」(上下水道の確保)の準備実態、如何？</p>	<p>災害時の飲料水の確保については、必要最小限の水の量を一日一人3リットルとして、確保しております。災害時には応急給水拠点を設け、浄水場(市内2箇所)から給水車による給水活動を行うとともに、避難所である各小中学校には非常用災害給水の井戸を設置することにより供給体制を強化しております。また民間井戸を所有者の同意を得て災害対策用井戸として協力いただくことや防災広場へ飲料水兼用耐震性貯水槽を整備することにより、水源の確保を図っております。</p> <p>トイレについては、避難者100人あたり1日1基の災害用トイレの確保を目標に取り組みを進めています。現在、組立式トイレを100基、簡易トイレを1,000個備蓄しております。また、防災広場や市内の公園を整備や改修する際、非常用トイレの設置を進めており、多様な災害用トイレの確保に努めております。</p> <p>また、市民に向けて、家庭のトイレを利用した災害用トイレ用品の備蓄や生活水の確保などの啓発もしてまいります。</p>
21	防災	<p>北裏公園の横を入っていくと袋小路になっており、日銀のコンクリートの壁がある。以前、公園をつくるために市と話をしたときに、あの塀も何とかしてくれないかとお願ひしたことがあるが、日銀の問題だと言われた。壁の倒壊で道がふさがれたら、袋小路になっているので、災害時に避難路が確保できない。</p>	<p>倒壊のおそれのある危険なブロック塀については、過去3回、全市的に調査を行い、危険なブロック塀と判定されたものについては、所有者に改修をお願いしております。</p> <p>市には危険なブロック塀と判定したものについては改修・補強する場合、その必要経費の一部を補助する制度がございます。またブロック塀を撤去し、緑化を行った場合は、その撤去費用も助成対象になります。</p> <p>さらに、まちの安全点検を担っていただくため、地域にお住まいの方に防災推進員を委嘱し、日頃よりブロック塀など危険箇所も含めて点検していただき、地域の安全点検を行っています。</p>
22	防災	<p>扶桑通り沿いの成蹊学園の壁は、もし地震でも起き、道路側に倒れたら大変なことだ。景観の観点もあるので、塀を直していただきたい。ぜひ市からも成蹊学園にお願いしていただきたい。</p>	<p>今回の震災でご指摘のブロック塀の一部が崩れ、現在、ポスターを掲示し注意を呼びかけております。危険箇所については早急に改善するよう成蹊学園に働きかけております。</p> <p>また、市では、ブロック塀を生垣にする際の助成を行っています。扶桑通りに垂直に伸びている、成蹊学園の真ん中を横断している道路の脇の生垣については、市からお願いをして生垣にさせていただいた経緯がございます。防災の面だけでなく、成蹊学園からの安全面(人の立ち入り)など、再度、調整の上、扶桑通り沿いの塀については生垣等への要望を伝えることとします。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
23	都市観光	三鷹市は太宰治を観光の目玉にしているが、武蔵野市は国木田独歩を取り上げてはどうか。	武蔵野市内には玉川上水の桜橋と三鷹の駅前に国木田独歩の文学碑が設置されており、また代表作である「武蔵野」の市民版の刊行も行っています。また、武蔵野市観光推進機構が平成22年7月に発足し、市内の観光資源を活用した様々な事業を検討、実施しています。
24	広報・公共サイン	コミュニティセンターをはじめ重要な施設でのイベントのお知らせを、駅などの目立つところに掲示していただきたい。また、市役所の当直に今日のタウンミーティングのことを聞いてもわからなかったの、わかるようにしてほしい。また施設の案内表示についても、充実させていただきたい。	現在、市のイベントについては、市内に数十箇所ある広報掲示板でお知らせしておりますが、施設整備や維持管理にかかるコストなどと、効果を考慮し、適切な情報発信を行っていきます。  また、市民や来訪者などの利便性の向上を図るため、平成23年度に公共サインガイドラインを策定し、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、歩行者に対するサインの配置やデザインの統一化を、施設改修に併せて図っていきます。  駅については、駅舎の改修に併せて、吉祥寺駅については、まちの魅力と回遊性の向上を図るため、JR吉祥寺駅舎内に、まち案内機能と交通案内機能を併せ持つまち案内所を整備する方向で、鉄道事業者等と協議・調整を図っています。武蔵境駅についても、鉄道事業者と高架下利用等の協議とともに調整を行っています。
25	ムーバス	東町4丁目から市役所には行きづらい。ムーバスの乗り継ぎは仕方ないと百歩譲っても「市役所行き」切符を考えて下さい。100円で！	ムーバスは、バス交通空白・不便地域を解消し、高齢者や小さなお子様連れの人などすべての人が、気軽に安全にまちにでられるようにすることを目的としたコミュニティバスです。駅を起終点に1周5km、30分程度で循環することを目途にルート設定した短距離交通システムであり、既に民間の路線バスが運行している箇所については、原則として、ムーバスを運行する予定はございません。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
26	自転車	<p>歩道の安全確保について 1、歩道の自転車走行禁止、2、警察官が歩道を自転車で走るのは厳禁・言語道断。歩道は歩行者専用である。</p> <p>歩道に自転車の走行禁止という、看板を出してはどうか。</p> <p>安心・安全のまちづくりで自転車走行の件で、車道を通ると車からクラクションを鳴らされ、歩道では通行不可では、自転車はどこを通行すればよいのでしょうか。自転車が不可ということになれば、車を持たない者は徒歩にしろということなのですか？</p>	<p>自転車は、道路交通法上、車道の左側を走行することになっておりますが、市内の道路は幅員が狭いところが多く、安全上、ほとんどの歩道が自転車通行可の歩道となっております。</p> <p>ただ、歩道では、歩行者が優先となりますので、歩行者の支障にならないよう、歩道の車道寄りを徐行するなど、歩行者に配慮した走行が求められます。平成20年から武蔵野警察署と共同開催している自転車安全利用講習会でも、そのことを周知しておりますので、こちらをさらに充実させ、より多くの方に正しいルールを身につけていただくよう努力してまいります。また注意喚起の看板等については、その効果を検証し、必要に応じて、交通管理者と協議の上、設置を検討してまいります。</p>
27	自転車	<p>井の頭通りの歩道は、特に自転車の通行が激しいので、危険箇所として認識してほしい。</p> <p>歩道の環境が市内最悪ではないかと思われる中央通りに面して住んでいる。安心して歩くことができないので、看板の設置を願う。</p>	<p>井の頭通りや三鷹通りは、バス専用レーンや右折車線等の交通規制がある都道です。看板の設置については、道路管理者である東京都、交通管理者である警察署並びに公安委員会等関係機関と協議したいと思います。</p>
28	自転車	<p>自転車で車道を走るとは危険です。歩道のスピードを制限するのが良いでしょう。スピード違反・夜の無灯は罰金を取るようにしてはどうでしょう。</p>	<p>道路交通法上、歩道上を自転車で走行するときは、歩行者の邪魔にならないように車道寄りを徐行することになっており、違反した場合には2万円以下の罰金または料料となっております。また無灯火についても違反した場合、5万円以下の罰金となります。</p> <p>取り締まりについては、全ての違反車両を取り締まることは事実上、困難ですので、警察官の指導に従わないなど悪質・危険な行為について、交通切符を切るなど厳しい対応をしております。</p>

番号	分類	ご意見	市の対応方針
29	自転車	吉祥寺公園通りの河合塾に通う生徒の自転車が、通行の妨げになっている。何とかしてほしい。	公園通りの河合塾については、夕方以降に塾生の自転車が道路上にはみ出すなど、通行の妨げになっています。平成23年3月1日にアトレ吉祥寺の御殿山駐輪場が約600台分増設されたため、こちらに誘導できないか、関係者と協議をしております。また、同年4月以降は、公園通りの放置防止指導を強化し、近隣駐輪場に誘導をまいります。
30	自転車	商品を引っ込めて、買い物のある人の自転車を置かせてほしい。	一般的には、お店に買い物をするためには、目の前に駐車できると利便性がいいのですが、サンロードやダイヤ街など駅周辺については、自転車が一台駐輪することにより、それが呼び水となって、違法駐輪につながる恐れがあります。何台も駐輪することにより、車椅子やベビーカーの通行の支障となるだけでなく、防災活動や救急活動を妨げてしまうこともありますので、障がい者の自転車を特例として、道路上に駐輪させることは、困難であると考えております。
31		高齢の方が店の前に、自転車がとめられず、駐輪場から歩いていくのは大変だという話があったが、自動車には、障がい者向けの特殊な通行許可証があるので、自転車も、武蔵野市で全国に先駆けてそのような制度を作ったらおもしろいのではないか。	
32	駐輪場	駐輪場の問題について具体的な進捗状況を教えてください。	平成23年1月に策定した「自転車等総合計画」に基づき、平成26年度までに整備目標台数の31,800台を確保を目指し取り組んでまいります。
33	歩行環境	武蔵境の南口から西の方へいく生活道路は、あまり自動車は通らない。しかし学生が多く、何人も横に並んで歩くので、自転車は通りづらい。歩行者にも注意を促すようなことをしてはどうか。	歩行者も道路交通法の適用を受けるため、複数が並んで歩行するのは、他の歩行者等の迷惑になるため、望ましくありません。歩行者は、交通上の弱者とされることが多いですが、道路を通行する以上は、道路交通法等を遵守し、他の交通にも配慮することが求められます。自転車の安全利用講習会でも歩行者の交通ルールについて触れてはいますが、今後歩行者にも正しいルールを周知できるよう検討してまいります。
34	歩行環境	成蹊大学の前の歩道橋を生徒・児童が渡っているのを見たことがない。本当に必要なのか。	当該歩道橋は東京都が設置し、管理しています。なお、成蹊小学校の児童が通学時に利用していると聞いています。



番号	分類	ご意見	市の対応方針
35	歩行環境	歩道に飛び出して商品や看板を並べており、歩きづらくて危ない。歩道に商品を並べていることについて、市では指導できないのか。	<p>商品などを道路上に置くことは、歩行者等の通行に支障を及ぼすことから道路法及び道路交通法では禁止行為とされており、武蔵野警察署や地元商店会と連携のうえ、指導等を随時行っています。また、昨年からは道路パトロールによる改善指導を集中的に実施しています。</p> <p>また、規制や指導だけでなく、企業コンプライアンスまたは、企業の社会的責任履行という考え方を広く路線商業者にも広めて行くべき課題と捉えています。法律や規則といった法令を守るだけでなく、法令とは別に社会的規範や企業倫理を守り、商業者への信頼を生む可能性があるものと考えてもらうように様々な機会でお話をさせていただきます。</p>
36	生活道路への車両流入	東町と練馬区との境の道路での、車・自転車の運行が歩行者にとって大変危険だ。管轄の違いもあるだろうが、何とかならないか。	<p>東京女子大の塀沿いの道路は、起点をとともにしている宮本小路と同様に、他区市方面からの流入交通が問題の根源にあります。そこで、当該地域からの要望を受けて、市と武蔵野・荻窪・石神井警察署と協議を重ね、平成21年9月から「最大積載量2トン以上の貨物自動車・特定中型貨物自動車・大型貨物車・特定大型自動車終日通行禁止」となり、2トン以上の通過車両に関しましては、終日交通規制の対象となりました。</p> <p>また、安全対策につきましては、道路を管理している杉並区が荻窪警察署との連名で時速20km制限！！スピード落とせ」「注意！！飛び出し」の2種類の看板を計6枚設置し、注意喚起を促しております。</p>
37	電線地中化	電線類の地中化、電柱の撤去を！歩行者・自転車の通行を安全化し、景観を向上させる。電柱をなくせば、吉祥寺も西欧の町のように美しくなり、ますます人気が出て土地・資産の価値が上がり、市への固定資産収入も増となる。	電線類地中化のほか、舗装のカラー化、街路樹や植樹帯、装飾街路灯の設置など、優先的に景観整備する路線を計画的に整備していきます。
38	住宅	住まいの建築について:確認書に基づいて建築現場を市としてチェックしていますか？	建築確認については、行政だけではなく民間指定確認検査機関でも行われていますが、市では、違反建築の早期発見と円滑是正指導のため、いずれの場合でも建築指導課監察係で定期的に現場に赴き、建築確認申請のとおり工事が進められているかを随時調査しています。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
39	住宅	近々、年金生活になりますが、年金の範囲でこの地に住み続けたいと思っています。低賃貸料の高齢者向けの住宅を是非提供していただけるような政策を進めてほしいです。	市では、住宅に困窮している高齢者の方々に、福祉型住宅(シルバーピア)を提供しています。市が管理する166戸に加え、都で運営する50戸があります。低廉な家賃で、高齢者向けの設備仕様を備えた住宅です。福祉型住宅は毎年5月頃(都営住宅は空きのある場合に限りに、3月か9月)に募集を行う予定です。
40	住宅	住みたいまちナンバーワンが、空き家のゴーストタウンになっているということはどういうふうに感じているのか。	空き家はそのままでは防犯・防災面でも問題がありますが、所有者の意向もあり、利活用については課題がございます。大切な住宅資源ですので、ファミリー層が住めるなど有効活用できるような制度を検討していきます。
41	マンションの大規模修繕	地産地消ではないが、市内の業者さんにもう少しマンション対策に対する協力要請をしていただいて、市内業者に依頼できる仕組みをつくれぬか。	武蔵野商工会議所建設業部会では、「地区内在住者住宅等の小規模補修工事施行協力業者制度」(通称「むさしのまち大工制度」)を平成17年3月よりスタートし、住宅修繕の業者選定で悩みを抱える市民のために小規模補修工事に対応する各地区担当協力業者の紹介を行っています。小規模のものには対応できますが、大規模なものには、同じく建設業部会で発行している「住まいのホームドクター」という冊子に、マンション等大規模工事にも対応できる業者を紹介しています。詳しくは商工会議所を通じてご相談ください。  また、マンションには、建替え時の課題もあり、こちらについては、地域の施工業者の紹介を武蔵野商工会議所建設業部会と連携してすでに行っていますが、その技術などに関する情報を市民に提供する仕組みを検討していきたいと考えています。
42	IT化	遅れているIT化をどういうふうにかバーしようとするのか聞きたい。	国の政策や他の自治体の動向を注視しつつ、本市におけるICT進展の状況や市民のニーズを踏まえ、市民が行政サービスの利便性の向上を実感できる取り組みを行っていきます。
43	コミュニティセンター	コミュニティセンターがもう少し自らが活を入れていくには、どうすればいいか。市も自主3原則を大事にしてくださるのはわかるが、大事にしなごう対等につき合うということも必要と考える。	今後ますます地域のつながりが重要となります。これらは地域全体の課題であり、市民活動の拠点、地域の居場所としてのコミュニティセンターをはじめ、様々な地域の場を活用して市民各自がそれぞれ可能なコミュニティに参加し、コミュニティの輪を広げ、つながっていくことで地域の力が強くなっていくものと思われま
44	コミュニティセンター	コミセンの活動及びコミセンそのものについてPR不足。見直しを含めて。	第五期基本構想・長期計画策定委員会においては、市民によるコミュニティづくりの拠点としてのコミュニティセンターの機能についても検討する予定です。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
45	市民協働	国の補助金で87億くらいNPO関係の予算がついたそうだ。市としてもNPO団体と協力してやれることがあるはずなので、呼びかけをしてみてもどうか。	平成23年度末の国の補正予算で、東京都に5億円のNPO関係予算がつき、市区町村が都へ申請する方法で国からお金が下りてくるとのお話は、平成23年2月に内閣府から出された「新しい公共支援事業の実施に関するガイドライン」に基づくものと思われます。市としては、今後、東京都で実施される本事業の説明会等に参加し、情報収集に努めるとともに、必要に応じて情報を提供していきます。
46	市民協働サロン	「市民協働サロン縮小に反対することに関する陳情」を出している。	今年7月、武蔵野プレイスに市民活動フロア(仮)が開設することに伴い、市民協働サロンは、プレイスと相互に機能分担を行い、市民活動団体等と市との協働を重点的に推進する拠点としての役割を強化していきます。今後は、市民協働サロンと武蔵野プレイスとが連携しながら環境整備を進めることにより、市の市民活動支援体制の一層の充実を図っていきます。
47	コミュニティ活動	子育て世代の人を見ていると、自分の力があるはずなので、次の世代の自発性を高める機会というのをもっと増やしていただきたいし、自分もまちの中の一員であるということを入れて生活してほしい。武蔵野市では、ひとり住まいの方が多いということだが、若い単身者もいるので、地域参加についての支援というものを考えていただきたい。	今後ますます地域のつながりが重要となります。これらは地域全体の課題であり、市民活動の拠点、地域の居場所としてのコミュニティセンターをはじめ、様々な地域の場を活用して市民各自がそれぞれ可能なコミュニティに参加し、コミュニティの輪を広げ、つながっていくことで地域の力が強くなっていくものと思われます。 第五期基本構想・長期計画策定委員会による討議要綱においては、「市民によるコミュニティづくりの拠点としてのコミュニティセンターの機能についても、検討する必要がある」とされています。 また、市では「第三次子どもプラン武蔵野」に基づき、子育て家庭が地域とつながりやすくする仕組みづくりを盛り込んだ「登録制による子育てステーション制度」の導入を検討しており、その目的として、「家庭」「行政」「施設」「地域」のつながり強化をうたっています。
48	吉祥寺美術館 音楽室	吉祥寺美術館の音楽室がなくなるという話を聞いた。また市民協働サロンが縮小される話も聞いたが、市民活動をする場が減らされているようだ。音楽室は多くの人利用しているので、たとえ武蔵野プレイスに音楽室のような施設が出来るとしても、場所としてはとてもいいところなので、ぜひ美術館に音楽室を残していただきたい。	現状の吉祥寺美術館は、展示室が狭く充実した企画展示ができない、音楽室が併設されているために鑑賞環境の静寂が保たれない等、自主事業への影響が大きく、美術館本来の機能が制限されています。美術館拡充の可否と合わせて、音楽室についても検討していく必要があると考えています。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
49	タウンミーティング	第五期長計で「地域のコミュニティ」は中心テーマだと言われていますが、その中でのコミセン(コミュニティ協議会)の位置づけ、役割について、実情をできるだけ正確に把握して計画を作ってほしいと思っています。策定委員の皆様がコミュニティでのコミセン活動に地域福祉活動をご理解下さるような方策を考えて下さい。	第五期基本構想・長期計画の策定に際して、多様で広範な市民の方からの意見を伺うため、関係団体市民会議、圏域別市民会議、パブリックコメント等多様な手法を用い、策定作業を進めています。討議要綱でもお示ししましたとおり、地域コミュニティのあり方は、「今後10年間の市政運営における4つの基本課題」の一つとして捉えています。
50	タウンミーティング	せっかく休日の昼開催なのに、若い方の姿はあまり見られませんでした。まちは年齢的にかたよった意見だけでつくられてはいけませんよね。若い人に働きかけるよい方法はないでしょうかしらね？それから同じ人ばかりが意見を言う体制はかえられませんか？	タウンミーティングは、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」とテーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」を行っております。テーマ別タウンミーティングでは、商業、市民協働、環境、子どもといったテーマを設け、様々な年齢層の方のご意見を伺っています。またテーマを決めないで、自由に参加していただく「青空タウンミーティング」も併せて、今後も様々な形態や周知方法を検討し、広くご意見を伺ってまいります。
51	元号の使用	元号使用をやめていただきたい。	必要に応じて西暦と元号を併記するなど、分かりやすい表記に努めています。
52	地名	私は、武蔵野市という名前を非常に大切にしてくださいということを言っている。	「武蔵野」やそれぞれの町名には、固有の歴史等もあることから、本市の財産であるとともに、ブランドであると考えています。そのため、今後も、これらを大切にするとともに、個性を大事にしたまちづくり等を推進していきます。
53	地名	市で発行している「コミュニティセンターガイド」では、地域を吉祥寺地区と三鷹地区、境地区と3つに分けていて、このけやきコミセンは、三鷹地区になっている。けやきコミセンは、吉祥寺北町にあると思っていて、三鷹にあるとは思ったことはない。	現在各課で使用している名称は必ずしも統一されておりませんが、市域を3つに分ける場合には、多くは「吉祥寺」「中央」「武蔵境」としています。 「武蔵野市コミュニティセンターガイド」では最寄駅ごとに吉祥寺地区、三鷹地区、境地区と明記しておりましたが、いただいたご意見を参考にいたします。

番号	分類	ご意見	市の対応方針
54	三鷹駅北口	三鷹駅北口の皆が見えるところに、武蔵野市であるとの大きな看板を掲げてほしい。	都市景観に関わることであり、来年度には公共サインに関するガイドラインについて検討する予定になっていることから、この結果を受けて検討していきたいと思えます。
55	市の計画について	人口構成を、まちづくりや行政の課題とする計画は？	今後、10年ぐらい先から子ども数が減ってくる予測があり、子どもの数を確保していくための少子化対策、出産対策の検討や、第三次住宅マスタープランに基づき、多様な世代・世帯に適應する住まいづくりの検討を進めてまいります。
56	市のビジョン	どういう部分をどういう形で武蔵野市をより住みよいまちにされようとするのか、市長のビジョンとして説明していただきたい。	現在、第五期基本構想・長期計画策定に向けて議論を行っているところであり、平成24年度から平成33年度までの10年間についてのビジョンやどのように市政運営を行っていくかについて、明確にしてまいります。
57	計画の実効性について	策定中である第五期基本構想・長期計画や都市計画マスタープラン、住宅マスタープランなどの計画を読むと、内容はすごく充実して、調査も徹底してやっていると感じるが、実行にかける熱い思いが伝わってこない。自分たちがこうするというマニフェストがあれば、市民を動かす力になると思う。	

### 3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	テーマ設定をしたので、テーマを掘り下げるような進め方にしてもよかったように思います。なかなかむずかしいかもしれませんが、市長抜きのミーティングが、けやきならできそうな気がします。
2	これからの武蔵野市をもっと住みやすいまちにする為に、市民と行政がうまくつながってほしい。
3	前回出された意見についての進捗状況、説明がされたのはよかった。
4	質問・課題を、順を追うようにしてほしかった。
5	武蔵野市政に興味があり、今回ホームページで広告を拝見し、参加いたしました。私たち世代(20代)では感じ得ないご意見を拝聴できて、面白かったです。私たち世代やその下の年代、40代、50代、60代…各年代で意見は様々だと思います。世代を越えて情報交換、意見交換出来る機会を設けたら、住みやすいまちの一步になるのではと感じました。
6	せっかく休日の昼開催なのに、若い方の姿はあまり見られませんでした。まちは年齢的にかたよった意見だけでつくられてはいけませんよね。若い人に働きかけるよい方法はないでしょうかしらね？それから同じ人ばかりが意見を言う体制はかえられませんか？活発な発言で、活力があってよかった。
7	高齢者が増加し、それに関する課題が増えてきたことがわかった。

#### 4. 前回(第8回)タウンミーティングでの主なご意見とその後の進捗状況

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
地域福祉	<p>大野田福祉の会で度々地域のお年寄りの見回り(見守り)の問題の取り組み、いかにあるべきか議論になるのですが、どのようにしていく(していく)ことが望ましいとお考えでしょうか？</p>	<p>地域福祉の大きな課題のひとつが「孤立」の予防です。市内13の地域社協に基本事業としてお願いしているのが「安心助け合いネットワーク」づくりです。これは高齢者等の安否確認という意味での見守りだけでなく、地域社会から孤立することのないよう声掛けを行っていかうとするもので、共助による地域福祉の基盤となるものと考えています。</p>	<p>市内13の地域社協が、それぞれの地域で見守り事業(安心助け合いネットワークなど)を地域の特色を生かして進めていただいています。具体的には、南町助け合いネットワーク、西久保2丁目安心助け合いネットワーク、境南安心助け合いネットワーク、千川助け合いネットワーク、関前災害発生時の救護ネットワーク、桜野助け合いネットワーク、四小地区災害時支援委員会、境丁目活動、吉西ささえあいネットの事業を行っています。大野田地区では、大野田福祉の会が中心となって孤立予防に有効な「ひびのさんち」を立ち上げ、多くの地域の高齢者が利用し、成果を上げています。</p> <p>地域における「孤立」問題、コミュニティの問題は今後の重要課題と位置づけており、その解決に向け、現在策定中の第五期基本構想・長期計画はもとより、本年度に改定予定の地域福祉計画や平成24年度に市民社協が策定予定の地域福祉活動計画においても、市民の皆様に参加していただきながら検討してまいります。なお、平成22年度は地域福祉計画の策定にあたって、地域の課題を地域の皆様と共に考えるきっかけとして大野田福祉の会、四小地域福祉の会の2地区において、地域懇談会を実施しました。</p>
	<p>武蔵野市の福祉を、市民力も加え、どう組み立てるか。特化したタウンミーティングを持ってほしい。</p>	<p>地域福祉という考え方の基本は、福祉を行政だけの仕事ととらえるのではなく、地域の住民、ボランティア、NPO、民間事業所、公的機関、何よりもハンディキャップをお持ちの方自身などが福祉の担い手であるという考え方に立つものです。そのような意味で、市民の皆さんからのご意見をいただきながら、武蔵野市の福祉について一緒に考えていきたいと思えます。現在の各コミュニティ協議会と市の共催によるタウンミーティングは、地域の課題や市政全般についての意見交換という形式で実施していますが、今後、ご要望があれば特定の課題に絞ったテーマ別のタウンミーティングの開催も検討したいと思えます。</p>	<p>平成19年度より、テーマ別タウンミーティングを開催しています。現在までに取り上げたテーマとしては、「吉祥寺・中央・武蔵境地区の商店街振興(各1回ずつ開催)」「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「市民協働で育むまちづくり」「市民とつくる環境にやさしいまちづくり」などがあります。子育てをテーマとしたタウンミーティングは、平成22年10月23日に「地域で育てよう！武蔵野の子ども」というテーマで開催しました。</p> <p>地域福祉のあり方については、平成22年度は地域懇談会や地域社協との意見交換会を行ってまいりました。平成23年度に、地域福祉計画を策定いたしますので、その中で市民の皆様のご意見を伺ってまいります。</p>

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
高齢者福祉	<p>高齢者(単身向け)住宅を増やすこと。各世代が利用することができるレストラン(市役所の食堂みたいなもの)を同じ建物内に作ったら、世代間交流ができると思う。</p>	<p>本市では、住宅に困っている高齢者の方々に、地域で安心して住み続けられるよう福祉型住宅を提供しており、市が管理する166戸に加え、都営住宅が30戸あります。また、一部の住宅では、高齢者の方だけではなく障害者・母子世帯が共に居住する福祉型共同住宅があり、そこでは建物内の食堂で希望者に対し、有料で食事を提供しています。</p>	<p>市では、現在、民間アパートの借り上げによる福祉型住宅が181戸ございます。また、都営住宅では、平成22年度に建て替えが終了した都営緑町二丁目第3アパートに、シルバーピア20戸が設置され、併せて市内に50戸を確保しております。今後も民間住宅を活用した高齢者や障がい者の居住安定への取り組みを実施してまいります。</p> <p>現在市内には、高齢者の入所施設として、特別養護老人ホーム6箇所(定員322人)、老人保健施設3箇所(定員168人)、有料老人ホーム6施設(定員357人)、認知症高齢者グループホーム2箇所(定員36人)があります。また、見守り支援の機能がついた、シルバーピア(福祉型住宅)11箇所(216戸)、軽費老人ホーム2箇所があります。</p> <p>各世代が利用できる食事場所としては、左記の場所のほかに市内テンミリオンハウスで昼食・喫茶を行っております。市ホームページで各施設の「今月の昼食メニュー」掲載を始めました。まだ全箇所ではありませんが、準備が整い次第、順次掲載していきます。また、特別養護老人ホームの親の家、ゆとりえ、吉祥寺ナーシングホームでは、高齢者を主な対象とした地域開放型のレストランで、食事や喫茶などを行っております。それぞれの開設施設に詳細はお問合せください。</p>
子育て支援	<p>むさしのミニタウン(来年3月24、25日)開催を全市でできるようなイベントにいつかできるといいと思います。</p>	<p>子どもたちが企画段階から取り組む事業はあまり無かったと思いますので、注目しています。3月開催の際には、見学させていただき、今後市としてどのような支援ができるか研究していきます。</p>	<p>現在「むさしのミニタウン」に対しては、会場へのテントや机等の貸し出し、防災啓発品の提供、または後援名義の使用許可などの支援を行っております。大変有意義な事業であると考えておりますので、今後も継続して支援して参りたいと思います。</p>



分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
保育園	<p>保育園の数が足りないのではないかと思います。入りたい子供が入れないとのことです。</p>	<p>本市には、市が財政負担をしている保育施設として認可保育園14園・東京都認証保育所4園・保育室1室・家庭福祉員(保育ママ)6名があります。平成18年4月における認可保育園の待機児童は42名ですが、その他の保育施設には年度前半は空きがある施設が多数存在する状況です。また、平成18年9月には東京都認証保育所が1園新設されました。今後とも状況等を勘案しながら検討していきたいと存じます。</p>	<p>平成22年4月の待機児童数は81名で、昨年度79名から微増の状況です。施設の新設状況としましては、平成21年度、認可保育園(96名定員)を1施設、平成22年度は4月に認証保育所(30名定員)を1施設、家庭福祉員を1名、11月にグループ保育室を2施設(定員計19名)を整備しましたが、待機児童の解消には至っておりません。</p> <p>待機児童の状況を見ると、その8割以上が0歳児から2歳児となっています。今後も待機児童の状況を見ながら、比較的短期間で整備できる、家庭福祉員の増員、グループ保育室の増設など、様々な手法で取り組みをしていきます。</p>
教育	<p>イジメ防止と対策</p>	<p>本市では、現在、いじめの早期発見・早期対応に向けて、教育支援センターによる平日夜間の「いじめ特別電話相談窓口」を継続したり、地域や関係機関等の方々を交えた全市的な「いじめ緊急対策会議」を実施するなど、学校への支援体制の強化に努めております。</p>	<p>各校では、「いじめ」の未然防止の第1歩として「学校行事」や「道徳授業」の中で強調性や思いやりを育む教育をしています。</p> <p>学校で解決が困難なケースについては学校関係者、市教育委員会、関連機関等による「サポートチーム」を設置し、学校への組織的な体制の強化を図っております。</p>
教育	<p>中学校での部活動は、先生のボランティアによるところが大きい。コーチなどを地域の有志や学生などを有償ボランティアでやっていただけるような制度導入をお願いしたい。先生の転校で廃部に追い込まれた部活をいくつも知っています。子供がかわいそうです。</p>	<p>本市ではこれまでも、地域やスポーツ団体関係者等からなる外部指導員のリストを作成し各学校に提供するなど、部活動へのサポート体制の強化に努めておりますが、今後は、近隣の大学とも積極的に連携し、外部指導員の一層の活用を図ってまいります。</p>	<p>現在、本市では地域のスポーツ団体関係者、大学生などからなる外部指導員の活用を積極的に導入しております。なお、平日に活動できる外部指導員が少ない状況も見られるため、新たな人材確保として、生涯学習と連携した部活動支援を一層進めてまいります。</p>
	<p>第一小学校のトイレのリフォームと全体のクリーニング。美術室や音楽室の天井隅や体育館のかけの部分は生徒では無理です。ぜんそくのもとです。</p>	<p>現在、第一小学校からは、トイレの不具合等は特になく、児童のトイレ使用のマナーは大変良いと聞いておりますが、トイレや内装の改修は、市内小中学校全体で計画的に行ってまいります。天井など高い所の清掃は、学校職員が行っていますが、ガラス清掃などの危険を伴うものは外部に委託しております。</p>	<p>第一小学校のトイレにつきましては、平成23年度の夏休み期間に、配管も含む全面改修を行う予定です。</p> <p>高所の清掃につきましては、これまでどおり学校職員が行っており、ガラス清掃などの危険を伴う作業は、外部への委託を継続しております。</p>

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
青少年施策	<p>境に住んで3年目になります。初めてコミセンを利用して、タウンミーティングというものを体験しました。まだまだ若者が参加して高齢化に対し、また、衰退する社会経済に対し、又、衰弱した教育に対し、盛んな議論をするタウンミーティングにするために、市、行政が若者にどんどん問いかけていかなくてはますます高齢化が進むばかり。安全は安心は生まれない。</p>	<p>市としても、様々な市政の課題について、若い世代の参加の工夫を進めています。例えば、暴走自転車について、どうしたら利用者にマナーを守ってもらえるかを検討するために、委員会を設置していますが、この委員会では、若い方の視点で対策を考えてもらおうということで、高校生や大学生といった世代の方にも委員に入っています。また、行政だけでなく、地域の活動などに若い人たちを巻き込む工夫を、皆様にもお願いできたらと思います。</p>	<p>市としても、様々な市政の課題について、若い世代の参加の工夫を進めています。例えば、暴走自転車について、どうしたら利用者にマナーを守ってもらえるかを検討するために、委員会を設置しましたが、この委員会では、若い方の視点で対策を考えてもらおうということで、高校生や大学生といった世代の方にも委員に入っています。また、行政だけでなく、地域の活動などに若い人たちを巻き込む工夫を、皆様にもお願いできたらと思います。</p> <p>また、現在第五期基本構想・長期計画を策定しておりますが、これまで市政に参加する機会がなかった方からも広く意見を伺うため、市民ワークショップを3回(平成22年11月、平成23年3月、秋頃予定)開催します。各回無作為に選出した1000名に案内を送り、承諾された方(100名程度)で行います。</p>
	<p>中学生、高校生が自分達で活動ができる場所を。</p>	<p>現在市内に中高生の居場所として特化した施設はありませんが、今後、武蔵境駅南口に建設を計画している武蔵野プレイス(仮称)に、音楽スタジオ、多目的スタジオなどを設け、中高生の居場所としての機能を持たせていく予定です。</p>	<p>中高生専用の居場所については、地域における青少年の活動の場を、市民が主体となって提供する取り組みを行い、身近な居場所のあり方を考えることも必要です。地域のボランティアによって管理・運営されているコミュニティセンターは、学習室やスポーツ施設の利用、ロビーでのおしゃべりなど、身近な居場所の役割を担っています。さらに、放課後の子どもたちの「見守り」や異世代間の交流の場としても期待されます。</p> <p>また、武蔵境南口駅前に平成23年7月開館予定の「ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス」は、青少年同士の情報交換や相談、講習やワークショップなどの場を設ける予定であり、青少年が有効に活用できるスペースの提供について検討を進めています。</p>

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
	燃やさないゴミの日を月に1度にしてはどうですか。北町の日の水曜日のゴミです。	現在、燃やさないごみは毎週収集しております。有料化・戸別収集を実施して2年経過しましたが、燃やさないごみは大幅に減少しておりますので、平成20年度からの一般廃棄物処理基本計画を策定する時点で検討してまいります。	燃やさないごみの収集回数については、排出量の減少に伴う見直しを行い、平成21年度4月より毎週収集から月2回収集に変更いたしました。  本市のごみ行政の基本となるごみ処理基本計画の中では、市民生活、事業活動の各段階で、ごみとして発生するものを減らし(発生抑制)、資源を有効利用(排出抑制)することを、市民・事業者・行政が一体となって推進することを掲げております。ごみの発生抑制につながるマイバッグやマイ・ボトルの使用、排出抑制につながる資源物の集団回収など、環境に配慮したライフスタイルの構築については市民の皆さんの協力が不可欠であり、そのようなひとつひとつの取り組みが、ごみ排出量の減少につながるようであれば、今後も適宜ごみ収集回数の見直しを行ってまいります。
ごみ	ゴミの減量について ダイオキシンが発生しないような高性能な家庭用の焼却炉があると思います。そのようなものに補助金を出して、家庭で焼却できるものは焼却するのでしょうか。	廃棄物処理法の改正により、次の基準を満たしていない焼却炉は使用できなくなっております。①ごみを燃焼室で800度以上で燃焼できること。②外気と遮断された状態でごみを燃焼室に投入できること。③燃焼室の温度測定ができること。④助燃装置があること。⑤焼却に必要な空気の通風が行われること。現在この条件を満たす焼却炉が販売されておりますが、高価(40万～100万)であり一般家庭に普及するかどうかは疑問です。普及状況や大気汚染防止の観点から今後慎重に検討してまいります。	ごみの減量には発生そのものを抑制することが最重要と考えており、ごみになるものを家庭に持ち込まない取り組みが大事と考えています。  過去には生ごみ処理機の購入に対し補助を行ってりましたが、補助金としての交付の成果が十分でない等、費用対効果の見地から中止をいたしました。  ご提案の家庭用焼却炉は、廃棄物処理法により種々の条件が義務付けられているため高価(40万～100万)になり、普及には高額な補助が必要となり費用対効果について大きな疑問が生じます。農、林、漁業を営む為のやむを得ない廃棄物の焼却や、焚き火等、日常生活を営む上で通常行う廃棄物の焼却で軽微なものに、安価な小型焼却器を使用する事は例外的に環境省により認められているようですが、このタイプのものは都市部においては排煙による近隣住宅の生活環境の悪化が想定され、市として使用を推奨できるものではありません。これらの理由により、ご提案に沿うことは困難であると考えております。

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
環境	<p>犬のふんは道路に直接落とさないようにしていただきたい。簡単にできることでしょう。</p>	<p>ペットも人と共に生活していく上で、適切なしつけが必要なことはいうまでもありません。東京都の「動物の愛護及び管理に関する条例」では「適切なしつけを施すこと」等についての遵守事項が義務付けられておりますが、罰則規定は設けられておりません。したがって、現状では飼い主の方々に対し、「人と動物との調和の取れた、人に迷惑をかけないような飼育」についての普及啓発活動を保健所と連携しつつ引き続き実施しております。具体的には、「ふんの始末は飼い主の責任です」としたステッカーやパンフレットなどを配布し、飼い主のモラルの向上を呼びかけています。ご希望の場合は保健推進課においでください。</p>	<p>東京都の「動物の愛護及び管理に関する条例」では、動物飼養の遵守事項として「公共の場所並びに他人の土地及び物件を不潔にし、または損傷させないこと」を定めていますが、罰則までは設けられていません。そこで飼い主のマナーを訴えるため、飼い主に対して犬の登録時や狂犬病予防接種の案内送付時に、散歩時のルールとして、「ふんは必ず持ちかえること」を記載したパンフレットをお渡ししています。また、実害の程度に応じて現場で掲出できる、後始末励行プレートのご用意がありますので、ご希望の方は各市政センター、もしくは環境政策課の窓口までおいでください。(狂犬病予防事務は平成19年度より保健推進課から環境政策課に移管されています。)</p>
環境	<p>環境(緑) 成蹊通りのけやき 落ち葉の件(けやき 並木の枝切り)</p>	<p>成蹊通りのケヤキは市で管理しており、また、成蹊学園内のケヤキ並木は成蹊学園が管理しております。今季節、ケヤキだけに限らず、落葉樹の落ち葉の掃除は、市でも行っていますが、近隣住民の方々にご協力をいただかないと対応できないと認識しています。また、市としては、掃いていただいた落ち葉をリサイクルする循環システムを確立していくことが必要であると考えています。今後ともご協力をお願いします。</p> <p>市の管理するケヤキについては、剪定、枯れ枝除去等の作業を行い、適正に管理していきたいと思っております。成蹊学園のケヤキについては、成蹊学園に申し入れを行いたいと思っております。</p>	<p>市内に大木を育み、また樹木に対する理解を深め、啓発を図ることを目的に平成21年度より「未来へ育てすくすく苗木」事業を始めました。大木は次世代につなげる財産として、市民の皆様の理解がすすむことを願っています。</p>

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
防災	<p>17.9.4の床上、床下浸水(床上48件)以後、本年9月・10月にも保育園前付近で路面で30cm程の雨水・汚水が溢れた。最近の大雨(浸水)に対して、我々が安心して住める防災対策を承りたく思います。〈安心して住めるまちづくり〉</p>	<p>大雨警報発令時や、大雨による被害が発生する恐れのある場合には、市内41ヶ所に設置してある固定系無線の屋外拡声器により、非常放送を行い、浸水対策の注意を呼びかけます。また、水防支援職員態勢を整備し、休日・夜間・勤務時間外での大雨警報発令時や、大雨による被害が発生するおそれのある場合には、直ちに出勤し道路脇の排水溝点検および清掃や、パトロールによる情報収集などを行います。現在は、過去に浸水のあった地域を中心に、周辺に在住する職員31名による非常時の出勤態勢を整えております。今後も、突発的・局地的な集中豪雨による浸水被害が発生するおそれがありますので、市民の皆様には、家庭や職場などで自分たちの周囲の危険性を確認するなど、日頃の備えと迅速な行動をとれるような対策をお願いしたいと思います。</p>	<p>雨水流出の抑制として市内小中学校への貯留浸透施設の設置を順次実施しており、今年度は第五小学校に設置しました。これまでの設置の結果9校5100㎡を貯留することができます。</p> <p>また、昭和40年代から歩道には透水性舗装を施工しており、平成21年度からは市内全域の生活道路を対象に透水性舗装を施工しています。</p> <p>※吉祥寺北町地区における平成18年～21年度までの取組み結果 施工延長： 2,367.9m 施工面積： 8,014㎡</p> <p>※平成22年度施工予定 施工延長： (車道)375.0m、(歩道)307.0m 施工面積： (車道)1,350㎡、(歩道)221.0㎡</p> <p>今後も道路改修にあわせて生活道路等は透水性舗装に改良いたします。</p>
市民活動	<p>—団塊世代の力を発揮してもらうために— ボランティアセンターむさしのも大変健闘していますが、団塊の世代がリタイアして、地域にその力を発揮していくため、どんなことが考えられるでしょうか？(老人力も含めて)ちなみに私は61歳ですが、ボラとNPOで働いております。</p>	<p>平成16年に武蔵野市内に居住する6300人の団塊世代のうち3000人にアンケート調査を行って、約30%の回答をいただきました。この結果は市のホームページでご覧いただけますが、これによりある程度団塊世代の方の意識・志向が分かります。ここで詳しく述べることはできませんが、武蔵野市に住む団塊の世代、特に男性は70%が給与所得者であることから、「職縁」はあっても「地縁」は皆無であって、「お父さんお帰りなさい」というより「お父さんはじめまして」という方が正しい現状認識と考えます。趣味やスポーツといったサークル活動に参加するというのが団塊世代の地域活動スタイルになると思われます。生涯学習プログラムなどにおいては、一人の個人で完結させてしまうのではなく、少なくともサークル活動という社会性を維持していく仕組みづくりが重要であると思います。市としては、参加の機会をいかに提供するかが課題と考えます。コミュニティや地域社協、防犯・防災などの地域活動に参加している方には、団塊世代への声掛けをぜひお願いしたいと思います。</p>	<p>平成18年度より団塊世代地域発見推進事業を開始し、以降、団塊世代等の参画支援に向けた各種事業については、団塊世代の協力を得ながら実施してきました。平成21年度には、団塊シニア世代に働きかけるプラットフォーム組織「シニアネットむさしの(任意団体)」が設立されています。今後、武蔵野プレイス内に、NPOをはじめとする市民活動団体の活動・交流・連携等を支援する「NPO・市民活動サポートセンター(仮称)」が整備される予定であり、この場を活かし、団塊世代を含めた市民の公益活動の一層の活性化を図ってまいります。</p>

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
	<p>市民団体で同じ事業グループが多くあるが、声をかけると同じ人が集まってくる。もっと多くの人または同じグループに一本化できないのか。</p>	<p>NPO・市民活動団体の活性化のためには、様々なNPO・市民活動団体の「自発性・自主性」や「先駆性・多様性」を尊重することが重要であると考えます。 NPOや市民活動団体は、市民の皆さんが自主的に設立し、自立的な活動を展開することが望ましいため、それらの組織を行政が過度にコントロールしたり、ひとつに統合を図ることは好ましくないと考えられます。</p>	<p>NPO・市民活動団体の活性化のためには、様々なNPO・市民活動団体の「自発性・自主性」や「先駆性・多様性」を尊重することが重要であると考えます。 NPOや市民活動団体は、市民の皆様が自主的に設立し、自立的な活動を展開することが望ましいため、それらの組織を行政が過度にコントロールしたり、ひとつに統合を図ることは好ましくないと考えられます。</p>
市民活動	<p>コミセン同士のつながりも出てきていますが、コミセンを越えた形に変化していく場合、役所としてはどのように考えますか。</p>	<p>コミセン同士が、それぞれの地域の課題や、広域的な課題の解決に向けて連携していくことは必要だと思えます。 例えば現在、市内の東部地区では、外環道路の課題に関して、吉祥寺東、南町、本宿、本町の4コミセンが連携を取って協議会を設立しています。 また、井之頭小学校の隣にありました泉幼稚園が廃園になりましたが、その跡地をめぐり、御殿山、吉祥寺西、中央コミセンの3コミセンが連携して、跡地利用を考えております。 コミセンのエリアを越えた連携が必要な広域的な課題に対応するために、ネットワーク補助金という制度を設け、必要な経費については一定の補助金を出しております。</p>	<p>今後ますます地域のつながりが重要となります。これらは地域全体の課題であり、市民活動の拠点、地域の居場所としてのコミュニティセンターをはじめ、様々な地域の場を活用して市民各自がそれぞれ可能なコミュニティに参加し、コミュニティの輪を広げ、つながっていくことで地域の力が強くなっていくものと思われれます。 第五期基本構想・長期計画策定委員会による討議要綱においては、「市民によるコミュニティづくりの拠点としてのコミュニティセンターの機能についても、検討する必要がある」とされています。</p>

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
自転車	<p>今後の市の自転車対策を教えてください。特に吉祥寺地区で。</p>	<p>自転車に関しては、駐輪場の設置と暴走自転車対策の2点が課題だと認識しております。吉祥寺駅周辺の駐輪場については、用地の確保に鋭意努めておりますが、なかなか難しいということもありますので、今後は、地下化を含めた重層的な駐輪場のあり方について、検討したいと思っております。また、暴走自転車に関しては、現在「自転車安全利用促進検討委員会」を設置して、対策を検討しております。</p>	<p>市では、武蔵野警察署との共催で、平成20年10月より、正しい自転車のルールを学ぶ自転車安全利用講習会を開催しています。この講習会では、市内の自転車事故の実態、賠償責任や保険の問題、また、なぜそういうルールが設けられたのかに重点をおいて、講習を行っており、現在まで約8,000人の方にご参加いただいております。</p> <p>講習会実施以降、市内の自転車関連事故は減少しており、徐々にその効果が表れてきていると認識しております。今後も講習会を充実させ、歩行者と自転車が共存できるまちづくりを進めてまいります。</p> <p>平成22年4月に商業ビルである吉祥寺パーキングプラザの1・2階を利用して、公共自転車駐輪場が整備いたしました。またアトレ吉祥寺御殿山駐輪場が、市の要綱に基づき、建設費の一部を補助金として交付し、民間が整備する公共駐輪場として642台が増設されました。今後も武蔵野市自転車等総合計画に基づき、必要台数を整備してまいります。</p> <p>吉祥寺パーキングプラザ公共自転車駐輪場や平成23年3月に開設される吉祥寺大通り北自転車駐輪場では、入庫から2時間まで無料で駐輪できます。</p> <p>これにより、今まで短時間の駐輪であるため、駐輪場を利用していなかった方にも、利用しやすくなるとともに、駐輪場の回転がよくなり、より多くの利用者に対応できるようになりました。</p>
自転車	<p>自転車は歩道も車道も走りづらい。自転車が走れる通行帯がほしい。</p>	<p>道路構造やバリアフリーなどに係る法令や基準をクリアする道路については、検討を行ってまいります。</p>	<p>市内には、平成22年4月に整備した境南町の「かえで通り」のような広幅員の道路が少ないため、法令や基準に合致する自転車道等の設置は難しい状況です。</p> <p>三鷹駅北口の「文化会館通り」で試行している路面表示による「自転車通行帯」が、自転車安全利用講習会等による啓発活動の効果もあって、ルールやマナーが自転車利用者に定着してきています。また、警察署・地域交通安全推進委員・交通安全協会・自転車店組合・地元商店街の方々や協働して、正しい交通ルールの啓発や無料の自転車点検をマナーアップキャンペーンとして、毎月実施しています。今後も歩行者と車が共存する狭い道路空間において、ハードとソフトの両面から「自転車通行環境の整備とネットワーク化」を検討していきたいと思っております。</p>

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
自転車	駐輪場地下化？	<p>駅周辺の駐輪場については、利用できる用地が無いなど確保に苦慮しております。特に吉祥寺駅周辺については、今後も用地の確保等に鋭意努めていきますが、並行して、地下化を含めた重層的な駐輪場のあり方についても、検討したいと思っております。</p>	<p>平成21年度に吉祥寺駅周辺に地下駐輪場が整備可能かどうか検討調査を行いました。最終的な候補地は、吉祥寺大通り、北口駅前広場、平和通りの3箇所に絞られました。地下機械式については、今後の維持管理費の問題、さらに吉祥寺はお買い物等による一時利用のニーズが高いが、機械式は対応が難しいなど、改めて検討が必要です。また、地下自走式については、3箇所それぞれに課題があり、結論としては、配置計画は平和通りは適しているが、建設費や収容規模の検討が必要なこと、吉祥寺大通りは将来的な方向バランスの考慮が必要なこと、駅前広場については、直近への自転車流入を避けるための検討が必要との結論がでています。ただ、地下を活用しなくても、市の目標整備台数を賄える予定となっておりますので、当面地下駐輪場を作る予定はありません。</p>
道路	<p>扶桑通りの交通量が多い。主道なのである程度は仕方ないと思います。早く大学の中を何とか早く話し合って交通を緩和してください。私宅の通りは抜け道で、大きな車が通って不安です。道幅を広げたら、なお多くなりました。</p>	<p>成蹊通りの事業計画については、成蹊学園に地下案を提示し、粘り強く協議を続けていきます。 なお、扶桑通りについては、現在「人にやさしいみちづくり事業」として整備を行っておりますが、歩行者の安全を守るためには、歩行者が歩く部分を明確にしていかなければならないと考えています。また、当該道路の交通問題については、成蹊通りも含めた地域全体の交通体系のあり方を検討しながら、対策を進めていきます。</p>	<p>都市計画道路である成蹊通りの未整備区間については、環境に与える影響も含め、地権者に地下案を提示していますが、教育環境の悪化等を理由に未だに協力が得られない状況です。道路は、ネットワークが形成されることで本来の機能が発揮されることから、今後も事業の必要性について粘り強く理解を求めていきます。 なお、扶桑通りについては、現在「人にやさしいみちづくり事業」として整備を行っておりますが、歩行者の安全を守るためには、歩行者が歩く部分を明確にしていかなければならないと考えています。また、当該道路の交通問題については、成蹊通りも含めた地域全体の交通体系のあり方を検討しながら、対策を進めていきます。</p>
道路	<p>成蹊通りの貫通道路の問題は、かつて関係地域の方々が反対運動をしたと聞いています。関係地域の人たちの意見要望を聞いて、早急に結論を出すのではなく、慎重に対処してほしい。</p>	<p>道路は、ネットワークになってこそ本来の機能が発揮されますが、事業の実施にあたっては、周囲の道路環境に与える影響や事業の必要性について、地域住民の方々とともに検討し、理解を得ながら進める必要があると考えております。</p>	<p>事業の実施にあたっては、環境に与える影響や事業の必要性について、地域住民の方々に理解を得ることが重要になります。そこで、環境に与える影響も含め、当該路線の事業効果等を慎重に検討するとともに、地権者に理解を求め、事業協力を求めています。</p>



分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
道路	北裏通路 幅が狭い(歩道)。 学生の通る数が多い。できれば、五日市道路もバリアフリーを。		
道路	安心・安全・景観重視の町づくり市政理念を持っておられる市長様！北裏道路(NTT～立野町)、特にプール前～立野町間の歩道拡幅も検討ください。歩道に近接する住宅新設、産業交通路に近い車両の量、自転車、歩行者も増え、車イスも今では時々車道に出る必要があります。〈70年～88年頃までは、道路沿いに拡幅スペースがありました〉。「道路行政の重点順位変更」をご検討くださいませ。	北裏区画道路は、歩道約1.5m×2、車道6mで全体幅約9mの道路です。現状では車道幅を縮めて歩道を広げるとは、道路法により車道幅が決まっておりますので困難な状況です。現状の歩道を拡幅することは困難ですが、歩道幅内で有効幅を確保するには、宅地内に電柱を移設をお願いするのも一つの方法と考えられます。	NTT北側については、武蔵野警察署や警視庁と協議のうえ、車道の幅員を縮小して道路南側に歩道を新設する工事を行いました。また、引き続き、平成23年度はその東側区間の工事を予定しています。プール前から立野町までの区間は車道の幅員が狭く同様の工事は困難ですが、安全対策等につきましては、武蔵野警察署とも協議のうえ対応いたします。
道路	五日市街道の歩道の事もありますが、その他の道路でも歩道のあるところも歩道も狭く、だいぶ高さもあり、通行にだいぶ苦勞をして、電柱が歩道上にあり、年をとった人にはかなり危ない通行をいたしております。	東京都が管理する道路のうち、五日市街道や女子大通りにつきましては、東京都のすいすいプラン(主要交差点の計画線までの拡幅整備)により、歩行者や交通導線の改良が進められております。 この部分においては電線類の地中化も行う予定です。 市が管理する歩道のある道路は、交通バリアフリー計画に基づき、段差などを解消するため、駅周辺や主要道路を対象に歩きやすい道づくりを進めております。 また、駅周辺を中心として電線類の地中化も順次進めていますが、今後は面的整備も含めて無電柱化ができないかを検討していきます。	市ではバリアフリー基本構想を平成15年3月に策定しており、市内3駅を中心とした駅周辺を重点整備地区とし、重点整備地区の都道や市道のバリアフリー化を推進しています。平成23年3月には同基本構想を改定しており、今後は、百貨店などの大型店舗や病院、コミュニティセンターなどを結ぶ生活関連経路のバリアフリー化を図るなど、移動等円滑化に向けた一層の整備を推進していきます。また、平成21年度には「景観整備路線事業計画」を策定しており、今後は電線類地中化などの景観整備を計画的に推進していきます。

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
税金	公約にあった減税に対する進捗状況は？	防災や商業の活性化等に繋がる税の軽減策を検討するため、庁内で委員会を立ち上げ検討しています。平成19年3月までに検討結果をまとめる予定です。	商店街の活性化や中小商店者の支援、新耐震基準に合致しない老朽化した家屋の建替え促進を図ることを目的に、平成21年度課税より新築の非住宅家屋(店舗・事務所等)に対する固定資産税を一定期間2分の1に軽減しております。
健全な財政運営	市の借金いくらあるの？	平成17年度末の市債残高が、一般会計273億1,009万円、特別会計30億5,516万円で、土地開発公社の借入金残高が93億7,840万円です。借入金の返済に、税などの一般財源からどのくらい充てているかの指標である公債費比率は多摩26市中トップ水準にあり、財政の健全性は維持しています。	平成21年度末の市債残高は、一般会計228億8,127万円、特別会計35億9,114万円で、土地開発公社の借入金残高が97億6,106万円です。借入金の返済に、税などの一般財源からどのくらい充てているかの指標である公債費比率は多摩26市中トップ水準の少ない比率であり、財政の健全性は維持しています。
健全な財政運営	ほぼ完成された都市基盤を持つ武蔵野市では予算ぶんどり合戦をやめて、税金を節約して予算を残した部・課が良しとする税金の使い方をしてほしい。	現在、予算編成方法につきましては、部ごとに全体の予算額を決定し、その範囲内で部内で課ごとの予算額を決定する一般財源枠配分方式を一部試行しています。また、予算の執行についても不用額は次年度以降に使用できるように仕組みを検討中で、税金などの財源を効率的に配分するように努めています。	平成23年度予算編成では、経常経費について前年度予算額の1%を減額した額を限度とする枠配分方式を前年度に引き続き実施しました。今後も無駄な支出を抑え、健全な財政運営と効率的な行政運営を目指していきます。

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
タウンミーティング	タウンミーティング平均年齢高すぎ！	<p>タウンミーティングは、各コミュニティ協議会と市の共催により、地域の課題や市政全般についての意見交換という形式で実施しています。今後、各コミュニティ協議会とも工夫を重ねていきたいと思いますが、行政だけでなく、地域の活動などに若い人たちを巻き込む工夫を、皆様にもお願いできたらと思います。</p> <p>市としても、様々な市政の課題について、若い世代の参加の工夫を進めています。例えば、暴走自転車について、どうしたら利用者にマナーを守ってもらえるかを検討するために、委員会を設置していますが、この委員会では、若い方の視点で対策を考えてもらおうということで、高校生や大学生といった世代の方にも委員に入っていたいております。</p>	<p>タウンミーティングは、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」とテーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」を行っております。テーマ別タウンミーティングにつきましては、商業、市民協働、環境、子どもといったテーマを設け、様々な年齢層の方のご意見を伺っており、またテーマを決めないで、自由に参加していただく「青空タウンミーティング」も併せて、様々な形態での実施や周知方法により、これからも広くご意見を伺ってまいります。</p>
歴史資料館	歴史資料館を作るなら、中島飛行場地下壕を公開して、戦争の実跡を子ども達に知ってもらいたい。	<p>歴史資料館については、第四期長期計画で、既存資産の有効活用を念頭に、引き続き施設の構想の検討を進めるとしています。現在、市民にも加わっていただき、第四期長期計画の見直しを行っているところですが、歴史資料館の建設につきましても、調整計画策定の中で検討を行っていきます。</p> <p>また、武蔵野市の史実として空襲があったことについては、授業の中でこれを扱っております。例えば、市内の小学校3、4年生が使用している社会科副読本「わたしたちの武蔵野市」の中では、「戦争中の生活」を取り上げ、当時空襲を受けた中島飛行機の工場の様子を写真入りで説明しています。また、市内の延命寺に展示されている不発弾の処理の様子の写真なども紹介されています。このように、市内の子どもたちに武蔵野市の史実として空襲があったことを語り継ぐことは極めて意義深いことと考えております。</p>	<p>歴史資料館については、既存施設の活用の観点から、閉館する西部図書館施設を活用する案をたたき台として、第五期基本構想・長期計画策定の中で検討を行っていきます。平成19年度より、市民との協働による非核都市宣言平和事業を行っています。今後の平和事業の中でも、武蔵野市の空襲については次世代に継承するよう取り組んでいます。</p> <p>また平成23年1月に「武蔵野市平和施策懇談会」より、今後の武蔵野市の平和施策について答申を受けました。答申では、資料の収集・記録・保存・展示について提言を受けており、今後はこの提言を活かすよう事業を構築してまいります。</p>

分類	ご意見(H18.11.22実施)	報告書(H19.1発行)での市の回答・対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
市民文化	文化会館の催しについて 高度な専門性の高いものが多い。一般的な民謡・踊り・津軽三味線など多角的なものにしてほしい。	公演の内容は、より多くの市民の方に楽しんでいただけるものを、数多く取り上げております。また、民謡や踊り、津軽三味線をというご意見ですが、集客性等の問題もありますが、より多くの市民の方にお楽しみいただくため、今後検討させていただきます。	武蔵野文化事業団では、利用者の方からのご意見を参考に、多様なニーズにお応えするため、クラシック、ジャズ、オペラ、寄席などのほか、歌謡曲やポピュラーミュージック等の公演を取り入れています。今後も引き続き企画してまいります。
旧中央図書館	歴史資料館にしてほしい。地図、書籍、古文書、歴史碑、児童の社会科作成資料、古跡、古道具を展示。以前、千川上水、玉川上水の展示を文化会館で行ったのは良かった。	市では、旧家所有の古文書・古地図、開村以来の行政資料や公文書を中心とした文書系歴史資料館の建設を旧中央図書館跡地を候補地として検討してきた経緯があり、第四期長期計画では、既存資産の有効活用を念頭に、引き続き施設の構想の検討を進めるとしています。現在、市民にも加わっていただき、第四期長期計画の見直しを行っているところですが、歴史資料館の建設につきましても、調整計画策定の中で検討を行っていきます。	歴史資料館については、既存施設の活用の観点から、閉館する西部図書館施設を活用する案をたたき台として、第五期基本構想・長期計画策定の中で検討を行っていきます。  旧中央図書館跡地は、今後発生が見込まれる公共施設の建て替えのための用地として同時に検討を行っていきます。
	美術ギャラリー、多目的ホール、鍼灸・マッサージ施設、シルバーセンターとして使ってほしい。	旧中央図書館は耐震上の基準を満たしておらず、一般の方が利用するには相応しくないと考えています。また、同地の利用につきましては、来年度策定する長期計画の調整計画の中で議論すべきものと考えています。	
市のストックヤードについて	市民レベルのストックヤードは活動が活発なグループにとってはとても欲しいものです。地下倉庫でも魅力的です。	旧中央図書館は耐震上の基準を満たしておらず、一般の方が利用するには相応しくないと考えています。また、同地の利用につきましては、来年度策定する長期計画の調整計画の中で議論すべきものと考えています。しかしながら、瀬戸物や割り箸のリサイクルについては、環境問題を身近に捉えて行動することで大変有意義なことであると考えております。今後の武蔵野市のリサイクル施設等を検討する市民会議等のなかで検討してまいりたいと考えております。	市民活動団体のストックヤードについては、印刷物を置きたい等のご要望をいただき、平成19年度には、市民協働サロンにメールボックスを60個設置し、現在57の団体にご利用いただいています。平成23年7月に閉館する武蔵野プレイスには、メールボックスの他、ロッカーの設置も予定されています。

# 第36回 市民と市長の



# タウンミーティング

市民と市長が意見交換を行います。  
あなたの声をお聞かせください。



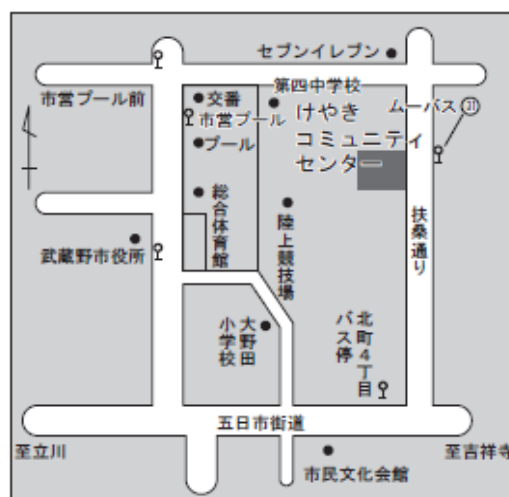
開催日時

2月6日（日） 14:00～16:30

会場

けやきコミュニティセンター

住所：武蔵野市吉祥寺北町5-6-19



テーマ

「自分たちのまちは自分たちでつくろう」



申込不要です。当日、直接会場へお越しください。



お車でのご来場は、ご遠慮ください。



主催

けやきコミュニティ協議会 武蔵野市

お問合せ

武蔵野市役所 市民協働推進課(2階)

TEL 0422-60-1829 FAX 0422-51-2000

# 第36回 市民と市長のタウンミーティング

「自分たちのまちは自分たちでつくろう」

住みたいまちから住めるまちへ

安心・安全のまちづくり

地域のコミュニティ・居場所づくり



当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（2階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民協働推進課（0422-51-2000）にお送りください。



-----

-----

-----

-----

-----



第36回

地域別  
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成23年5月

武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)